

日常生活圏域ニーズ調査 報告書

平成 26 年 6 月

新潟県上越市

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的	・・・	P. 3
2 調査対象	・・・	//
3 抽出方法	・・・	//
4 調査方法	・・・	//
5 調査期間	・・・	//
6 回収状況	・・・	//
7 回答者の属性等	・・・	P. 4
8 回答者の生活状況等	・・・	P. 5
9 集計（回答率）について	・・・	//
10 回答者の属する地区の集約について	・・・	P. 6

第2章 評価項目別の結果

1 介護・介助の状況		
(1) 介護・介助の必要性	・・・	P. 7
(2) 介護が必要となった主な原因	・・・	P. 8
(3) 介護者・介助者	・・・	P. 9
(4) 介護者・介助者の年齢	・・・	P. 10
(5) 在宅サービスの利用状況	・・・	P. 11
2 運動機能、身体機能等		
(1) 運動器	・・・	P. 12
(2) 閉じこもり	・・・	P. 14
(3) 転倒	・・・	P. 16
(4) 低栄養	・・・	P. 18
(5) 口腔	・・・	P. 20
(6) 認知	・・・	P. 22
(7) うつ	・・・	P. 26
(8) 虚弱	・・・	P. 28
(9) 二次予防事業対象者	・・・	P. 29

3	日常生活		
(1)	手段的自立度（IADL）	・・・	P. 30
(2)	老研指標総合評価	・・・	P. 32
(3)	日常生活動作（ADL）	・・・	P. 33
4	社会参加		
(1)	知的能動性	・・・	P. 35
(2)	社会的役割	・・・	P. 36
(3)	移動手段	・・・	P. 37
(4)	趣味や生きがい	・・・	P. 38
(5)	会・グループ等への参加頻度	・・・	P. 40
(6)	社会参加活動や仕事の活動頻度	・・・	P. 45
(7)	周りの人とのたすけあいの状況	・・・	P. 49
(8)	相談相手	・・・	P. 50
(9)	友人関係	・・・	P. 51
5	健康・疾病		
(1)	自分を健康だと思うか	・・・	P. 54
(2)	治療中・後遺症のある病気	・・・	P. 55
(3)	通院	・・・	P. 59
(4)	飲酒	・・・	P. 62
(5)	喫煙	・・・	P. 63
■参考資料			
	日常生活圏域二一ズ調査 調査票	・・・	P. 64

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

高齢者の生活状態に合った介護（予防）サービスや権利擁護などの各種福祉サービスを提供するため、主に生活機能の面から地域に在住する高齢者の生活状況を把握し、第 6 期介護保険事業計画策定の基礎資料とするもの

2 調査対象

市内在住の市民のうち、65 歳以上の介護認定を受けていない方及び要支援 1・2 の方 3,000 人

3 抽出方法

日常生活圏域（中学校別）、年齢区分別（5 歳刻み）、男女別に人口比率に応じ、無作為に抽出

4 調査方法

郵送配布・郵送回収

5 調査期間

平成 25 年 12 月 12 日～12 月 25 日

6 回収状況

有効回収数：2,269 件

有効回収率：75.6%

7 回答者の属性等

		全体		男性		女性		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総計		2,269	100%	886	39%	1,094	48%	289	13%
年齢区分	65～69 歳	499	22%	244	28%	255	23%		0%
	70～74 歳	505	22%	245	28%	259	24%	1	0%
	75～79 歳	429	19%	187	21%	242	22%		0%
	80～84 歳	328	14%	129	15%	197	18%	2	1%
	85 歳以上	213	9%	78	9%	134	12%	1	0%
	無回答	295	13%	3	0%	7	1%	285	99%
介護認定区分	非認定者	1,715	76%	792	89%	923	84%		0%
	要支援1	79	3%	17	2%	62	6%		0%
	要支援2	90	4%	29	3%	60	5%	1	0%
	無回答	385	17%	48	5%	49	4%	288	100%
家族構成	一人暮らし	275	12%	71	8%	166	15%	38	13%
	家族などと同居	1,948	86%	793	90%	912	83%	243	84%
	その他(施設入居など)	16	1%	10	1%	5	0%	1	0%
	無回答	30	1%	12	1%	11	1%	7	2%
同居人数	2 人	797	41%	347	44%	359	39%	91	37%
	3 人	429	22%	194	24%	179	20%	56	23%
	4 人	221	11%	80	10%	111	12%	30	12%
	5 人	190	10%	59	7%	109	12%	22	9%
	6 人	142	7%	51	6%	68	7%	23	9%
	7 人以上	101	5%	43	5%	48	5%	10	4%
	無回答	68	3%	19	2%	38	4%	11	5%

8 回答者の生活状況等

		全体		男性		女性		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
日中、一人にな ることがあるか ※同居の方の み回答	よくある	562	29%	189	24%	302	33%	71	29%
	たまにある	795	41%	355	45%	345	38%	95	39%
	ない	399	20%	177	22%	190	21%	32	13%
	無回答	192	10%	72	9%	75	8%	45	19%
年金の種類	国民年金	686	30%	142	16%	458	42%	86	30%
	厚生年金(企業年金あり)	578	25%	295	33%	209	19%	74	26%
	厚生年金(企業年金なし)	581	26%	249	28%	258	24%	74	26%
	共済年金	214	9%	103	12%	79	7%	32	11%
	無年金	9	0%	2	0%	6	1%	1	0%
	その他	150	7%	77	9%	60	5%	13	4%
	無回答	51	2%	18	2%	24	2%	9	3%
経済的な暮らし の状況	苦しい	351	15%	144	16%	160	15%	47	16%
	やや苦しい	981	43%	396	45%	463	42%	122	42%
	ややゆとりがある	743	33%	285	32%	372	34%	86	30%
	ゆとりがある	81	4%	28	3%	37	3%	16	6%
	無回答	113	5%	33	4%	62	6%	18	6%
住居の種類	一戸建て	2,153	95%	842	95%	1,041	95%	270	93%
	集合住宅	43	2%	16	2%	21	2%	6	2%
	無回答	73	3%	28	3%	32	3%	13	4%
	持家	2,129	94%	834	94%	1,027	94%	268	93%
	民間賃貸住宅	34	1%	14	2%	16	1%	4	1%
	公営賃貸住宅	14	1%	4	0%	9	1%	1	0%
	借間	10	0%	4	0%	5	0%	1	0%
	その他	15	1%	6	1%	8	1%	1	0%
無回答	67	3%	24	3%	29	3%	14	5%	
住居の環境	生活する部屋は2階以上	718	32%	309	35%	307	28%	102	35%
	生活する部屋は1階	1,477	65%	552	62%	751	69%	174	60%
	無回答	74	3%	25	3%	36	3%	13	4%
エレベーター の有無 (2階以上の方)	エレベーターあり	29	4%	11	4%	15	5%	3	3%
	エレベーターなし	645	90%	280	91%	275	90%	90	88%
	無回答	44	6%	18	6%	17	6%	9	9%

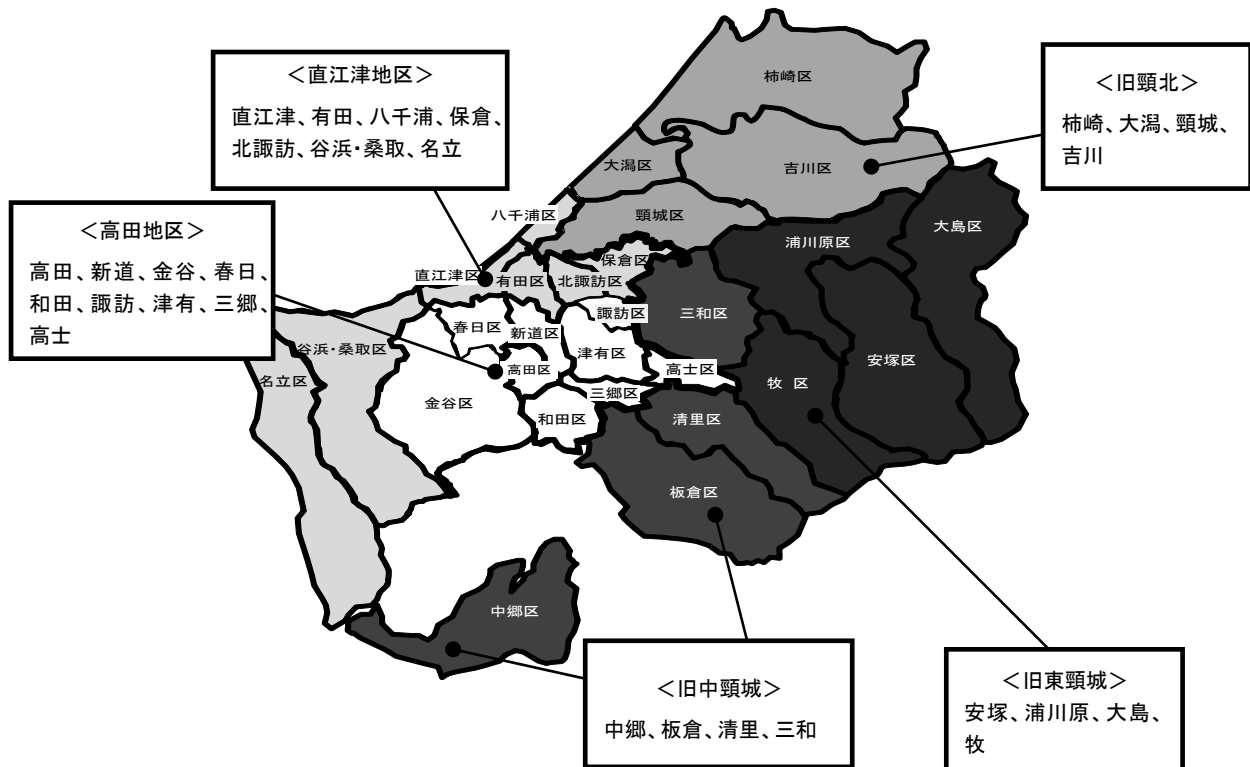
9 集計(回答率)について

回答率(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならない場合がある。

10 回答者の属する地区の集約について

平成17年1月1日の市町村合併に伴い、当市は、地形・風土などの生活様式が異なる14の市町村、29の地域自治区で構成されているため、本アンケートでは、概ね地域性が類似する地区を集約し、集計している。

【回答項目】 ＜お住まいの地域自治区＞			⇒	【集約項目】 ＜地域区分＞
高田区	新道区	金谷区	⇒	高田地区 (n=816)
春日区	和田区	諏訪区		
津有区	三郷区	高士区		
直江津区	有田区	八千浦区		
保倉区	北諏訪区	谷浜・桑取区		
名立区			⇒	直江津地区 (n=431)
安塚区	浦川原区	大島区		
牧区			⇒	旧東頸城 (n=154)
柿崎区	大潟区	頸城区		
吉川区			⇒	旧頸北 (n=367)
中郷区	板倉区	清里区		
三和区			⇒	旧中頸城 (n=214)



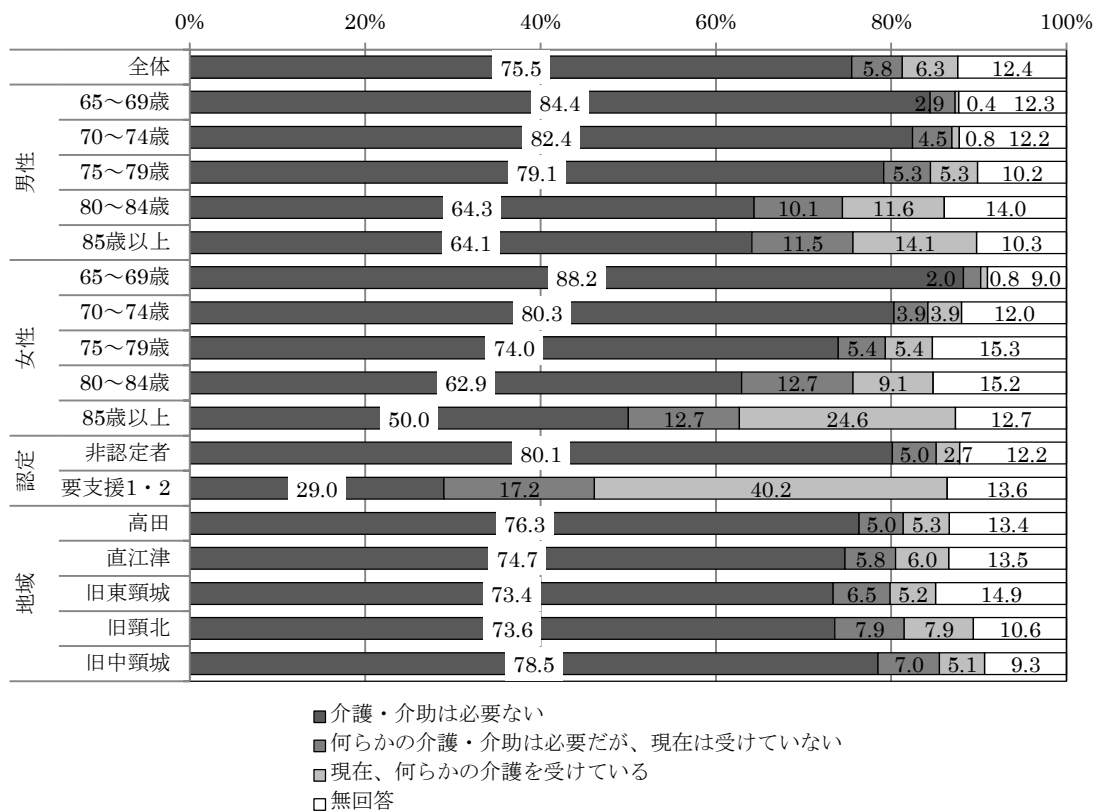
第2章 調査項目別の結果

1 介護・介助の状況

(1) 介護・介助の必要性 [問 1-2]

- ・ ふだんの生活における介護・介助の必要性は「介護・介助は必要ない」が 75.5% となっていますが、年齢が上がるにしたがい必要性は高くなり、男性では 75～79 歳以上、女性では 85 歳以上では「現在、何らかの介護を受けている」の割合が高くなっています。
- ・ 認定状況別に見ると、非認定者でも「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 5.0%、「現在、何らかの介護を受けている」が 2.7%あります。

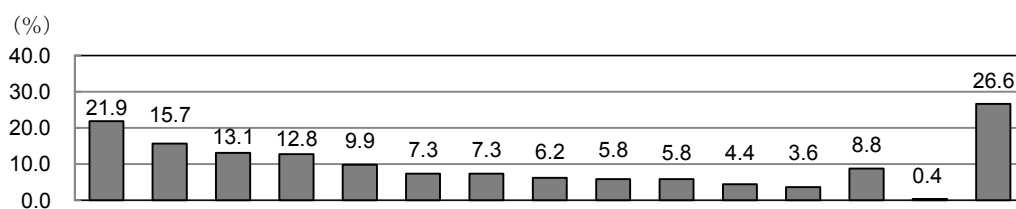
図表 1-1：介護・介助の必要性の割合



(2) 介護が必要となった主な原因 [問 1-2-①]

- ・ 介護・介助を受けている人の介護が必要となった主な原因としては、「脳卒中」が 21.9%と最も高く、次いで「心臓病」 15.7%、「がん」 13.1%となっています。
- ・ 男女ともに 85 歳以上では介護が必要となった主な原因として「脳卒中」が 40%以上となっています。
- ・ 地域別に見ると、介護が必要となった主な原因の「脳卒中」が旧東頸城地域で 33.3%、旧中頸城地域で 30.8%と他の地域に比べて高くなっています。

図表 1-2：介護が必要となった主な原因疾患の割合（単位：％）

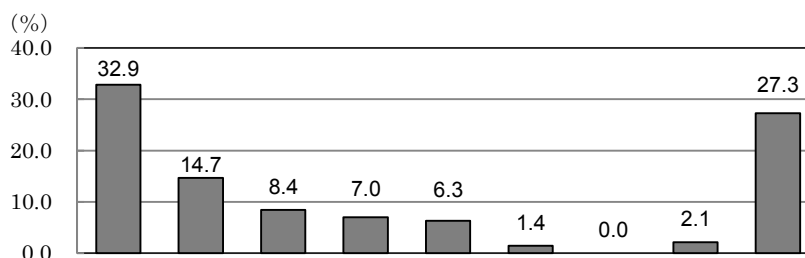


区分	人数(人)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	
全体	274	21.9	15.7	13.1	12.8	9.9	7.3	7.3	6.2	5.8	5.8	4.4	3.6	8.8	0.4	26.6	
男性	65～69 歳	8	12.5	0.0	12.5	0.0	37.5	12.5	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	70～74 歳	13	7.7	0.0	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.5	
	75～79 歳	20	15.0	15.0	25.0	5.0	15.0	20.0	10.0	5.0	5.0	0.0	20.0	20.0	0.0	25.0	
	80～84 歳	28	17.9	0.0	17.9	10.7	14.3	7.1	14.3	10.7	7.1	7.1	0.0	7.1	17.9	0.0	10.7
	85 歳以上	20	40.0	5.0	5.0	10.0	15.0	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0	5.0	0.0	10.0	0.0	35.0
女性	65～69 歳	7	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	
	70～74 歳	20	5.0	10.0	15.0	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	55.0	
	75～79 歳	26	11.5	11.5	3.8	19.2	15.4	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	11.5	3.8	3.8	26.9	
	80～84 歳	43	27.9	18.6	9.3	14.0	2.3	7.0	11.6	2.3	2.3	9.3	7.0	0.0	14.0	0.0	20.9
	85 歳以上	50	42.0	34.0	6.0	16.0	16.0	2.0	8.0	6.0	10.0	8.0	4.0	2.0	4.0	0.0	16.0
認定	非認定者	132	22.7	7.6	11.4	8.3	9.1	7.6	7.6	3.0	6.1	9.8	3.0	5.3	6.8	0.0	34.1
	要支援 1・2	97	25.8	24.7	11.3	17.5	11.3	4.1	6.2	6.2	5.2	0.0	4.1	3.1	12.4	0.0	18.6
地域	高田	84	21.4	16.7	10.7	14.3	10.7	7.1	8.3	4.8	2.4	6.0	2.4	3.6	8.3	0.0	27.4
	直江津	51	23.5	17.6	9.8	7.8	9.8	3.9	3.9	3.9	7.8	3.9	5.9	5.9	11.8	0.0	29.4
	旧東頸城	18	33.3	11.1	0.0	5.6	11.1	11.1	5.6	0.0	11.1	5.6	0.0	5.6	11.1	5.6	22.2
	旧頸北	58	19.0	8.6	15.5	10.3	5.2	5.2	5.2	5.2	6.9	6.9	3.4	5.2	8.6	0.0	31.0
	旧中頸城	26	30.8	15.4	11.5	19.2	19.2	11.5	19.2	11.5	3.8	3.8	7.7	0.0	3.8	0.0	30.8

(3) 介護者・介助者 [問 1-2-②]

- ・ 介護・介助を受けている人の介護者・介助者については、「配偶者」が 32.9%と最も高く、次いで「息子」14.7%、「娘」8.4%の順となっています。
- ・ 80歳以上の介護者・介助者は、「配偶者」が減少し、子や孫が増加します。

図表 1-3 : 介護者・介助者の割合 (単位 : %)



区分		人数(人)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体		143	32.9	14.7	8.4	7.0	6.3	1.4	0.0	2.1	27.3
男性	65～69歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	70～74歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	75～79歳	10	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	80～84歳	15	53.3	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	26.7
	85歳以上	11	27.3	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	36.4
女性	65～69歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	70～74歳	10	30.0	40.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	75～79歳	13	53.8	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	15.4
	80～84歳	18	38.9	11.1	11.1	5.6	11.1	0.0	0.0	5.6	16.7
	85歳以上	33	3.0	12.1	15.2	21.2	12.1	0.0	0.0	0.0	36.4
認定	非認定者	46	54.3	0.0	8.7	2.2	8.7	0.0	0.0	6.5	19.6
	要支援 1・2	68	16.2	22.1	8.8	11.8	7.4	1.5	0.0	0.0	32.4
地域	高田	43	30.2	11.6	9.3	9.3	7.0	2.3	0.0	0.0	30.2
	直江津	26	34.6	23.1	3.8	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	23.1
	旧東頸城	8	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	50.0
	旧頸北	29	34.5	10.3	3.4	6.9	10.3	0.0	0.0	6.9	27.6
	旧中頸城	11	54.5	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1

(4) 介護者・介助者の年齢 [問 1-2-③]

- ・ 介護・介助を受けている人の介護者・介助者の年齢は「75～84 歳」が最も高く、次いで「65 歳未満」が 25.9%となっています。
- ・ 非認定者では、介護・介助を受けている人の介護者・介助者の年齢は「75～84 歳」が最も高くなっています。
- ・ 地域別に見ると、介護者・介助者の年齢が「65 歳未満」の割合が一番高い地域が高田地域、旧東頸城地域、旧頸北地域となっています。その一方、介護者・介助者の年齢が「75～84 歳」の割合が一番高い地域は直江津地域、旧中頸城地域となっています。

図表 1-4：介護者・介助者の年齢の割合

区分		人数 (人)	65 歳未満	65～74 歳	75～84 歳	85 歳以上	無回答
全体		143	25.9	15.4	28.7	6.3	23.8
男性	65～69 歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	70～74 歳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	75～79 歳	10	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0
	80～84 歳	15	6.7	13.3	66.7	0.0	13.3
	85 歳以上	11	18.2	9.1	0.0	36.4	36.4
女性	65～69 歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	70～74 歳	10	30.0	60.0	0.0	0.0	10.0
	75～79 歳	13	30.8	0.0	53.8	0.0	15.4
	80～84 歳	18	33.3	0.0	22.2	11.1	33.3
	85 歳以上	33	45.5	15.2	3.0	3.0	33.3
認定	非認定者	46	21.7	13.0	45.7	2.2	17.4
	要支援 1・2	68	30.9	20.6	10.3	8.8	29.4
地域	高田	43	23.3	14.0	20.9	9.3	32.6
	直江津	26	23.1	15.4	30.8	7.7	23.1
	旧東頸城	8	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5
	旧頸北	29	34.5	17.2	24.1	0.0	24.1
	旧中頸城	11	18.2	27.3	45.5	9.1	0.0

(5) 在宅サービスの利用状況 [問 8 - 5]

- ・ 在宅サービスの利用状況では、「通所介護」が一番多く、次いで「通所リハビリテーション」「訪問介護」の順となっています。

図表 1-5 : 在宅サービスの利用状況

サービスの種類	人数
通所介護 (デイサービス)	29
通所リハビリテーション (デイケア)	8
訪問介護	5
医師や薬剤師などによる療養上の指導 (居宅療養管理指導)	4
訪問診療 (医師の訪問)	3
訪問入浴介護	2
訪問看護	2
小規模多機能型居宅介護	2
短期入所 (ショートステイ)	2
訪問リハビリテーション	1
サービス未利用または無回答	116

2 運動機能、身体機能等

(1) 運動器

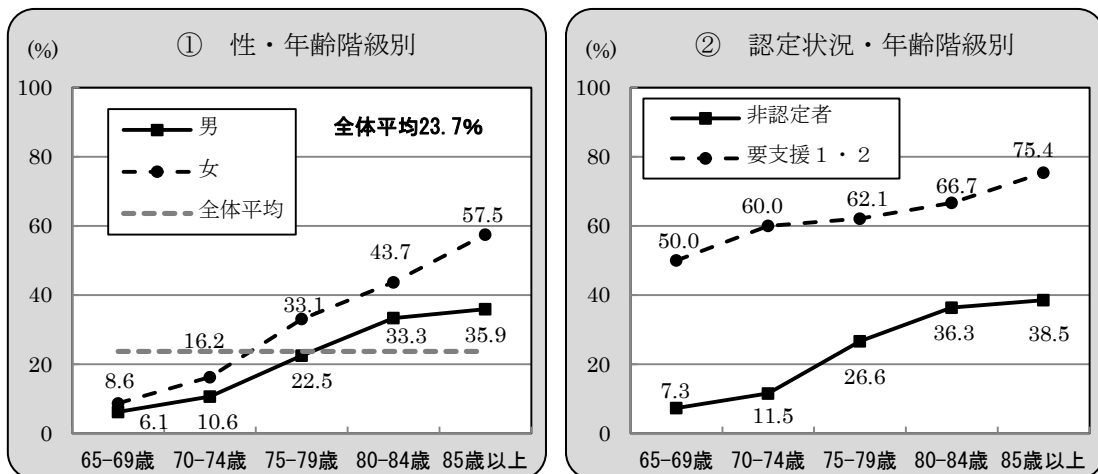
- ・ この1年間に転んだことがある人は21.8%であり、一方で転倒に対する不安が大きい人は41.6%と約2倍となっています。
- ・ 運動器の機能低下のリスク該当者は、男女比では女性が高く、年齢の上昇とともにリスク該当者も増加しています。
- ・ 地域別の比較では、旧頸北地域において「運動器の機能低下のリスク該当者」の割合が、わずかに高い状況にあります。

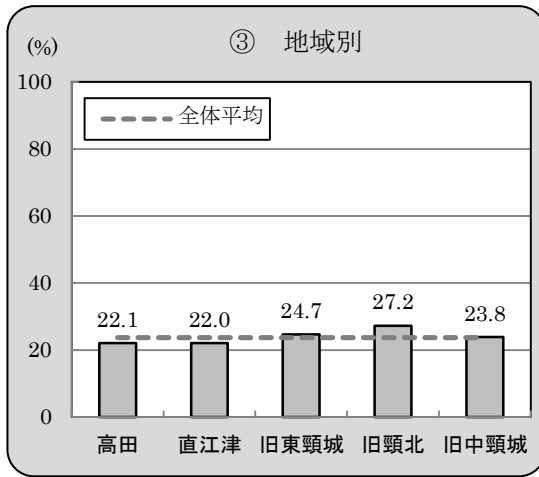
○ 評価方法

下記の5項目について、3項目以上該当する場合、運動器の機能低下の「リスク該当者」として判定しました。

設問		はい	いいえ	無回答
問2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（該当：いいえ）	1,214人	847人	208人
問2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（該当：いいえ）	1,604人	487人	178人
問2-3	15分位続けて歩いていますか（該当：いいえ）	1,573人	514人	182人
問3-1	この1年間に転んだことがありますか（該当：はい）	494人	1,610人	165人
問3-2	転倒に対する不安は大きいですか（該当：はい）	944人	1,110人	215人

図表 2-1：運動器の機能低下リスク該当者の割合





(2) 閉じこもり

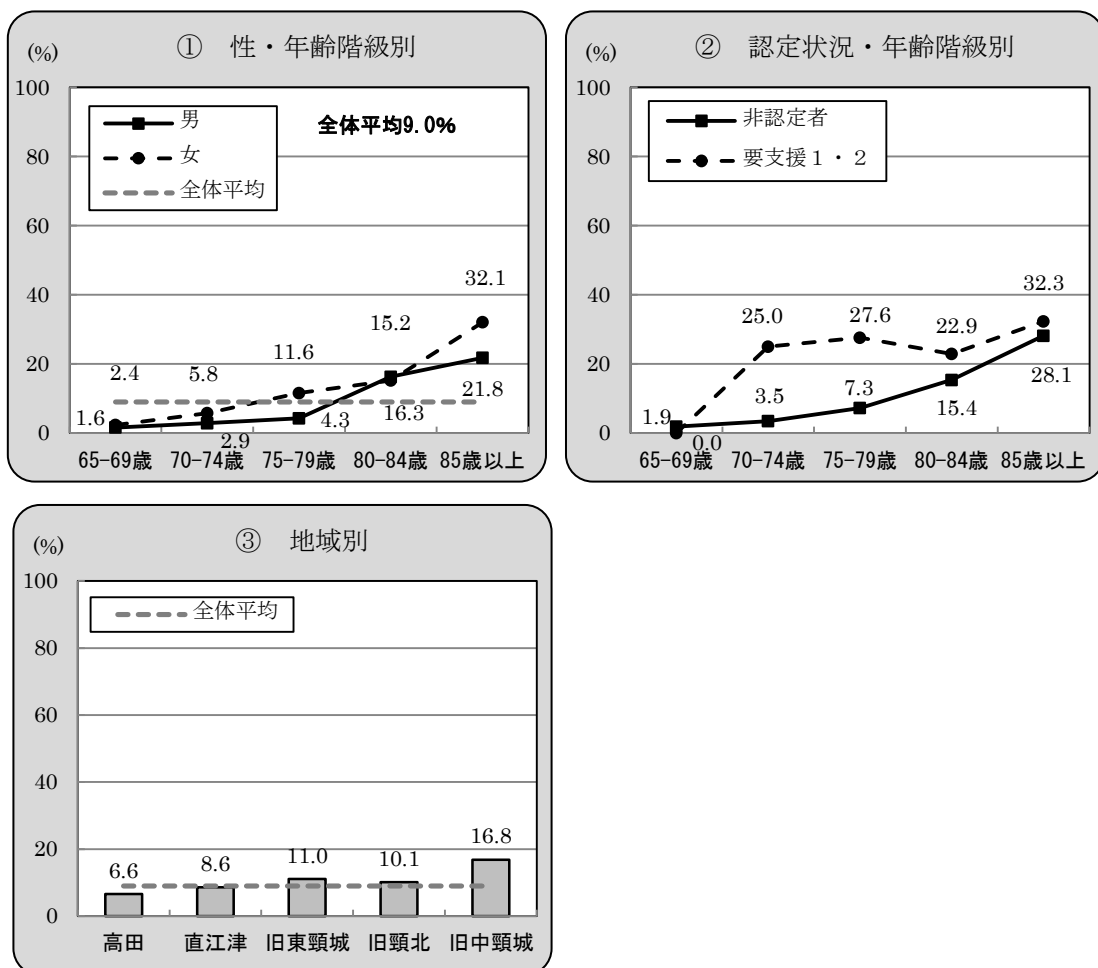
- ・ 外出の頻度が週1回以下の方は、8.9%となっています。
- ・ 全般的に男女比では、男性より女性が高く、男女ともに年齢が上がるほど「閉じこもりリスク該当者」の割合が高くなっています。
- ・ 地域別の比較では、旧中頸地域、旧東頸地域、旧頸北地域において「閉じこもりリスク該当者」の割合が10%を超えています。

○ 評価方法

下記の項目について、「いいえ」と回答した場合、閉じこもりの「リスク該当者」として判定しました。

設問		はい	いいえ	無回答
問2-5	週に1回以上は外出していますか (該当：いいえ)	1,883人	204人	182人

図表2-2：閉じこもりリスク該当者の割合



[関連設問]

- ・ 外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が最も高くなっています。
- ・ 「昨年に比べて外出の回数が減っている」と答えた人は30.5%となっています。

○ 関連設問の回答状況

設問		はい	いいえ	無回答
問2 - 4	5m以上歩けますか	2,002人	79人	188人
問2 - 6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	693人	1,397人	179人
問2 - 7	外出を控えていますか	521人	1,555人	193人

設問		回答者数	
問2 - 7	(外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)	1. 病気	72人
		2. 障害(脳卒中の後遺症など)	16人
		3. 足腰などの痛み	304人
		4. トイレの心配(失禁など)	81人
		5. 耳の障害(聞こえの問題など)	66人
		6. 目の障害	52人
		7. 外での楽しみがない	61人
		8. 経済的に出られない	46人
		9. 交通手段がない	99人
		10. その他	47人
			無回答
問2 - 8	外出する頻度はどのくらいですか[A買い物]	週1回未満	232人
	外出する頻度はどのくらいですが[B散歩]	週1回未満	397人

(3) 転倒

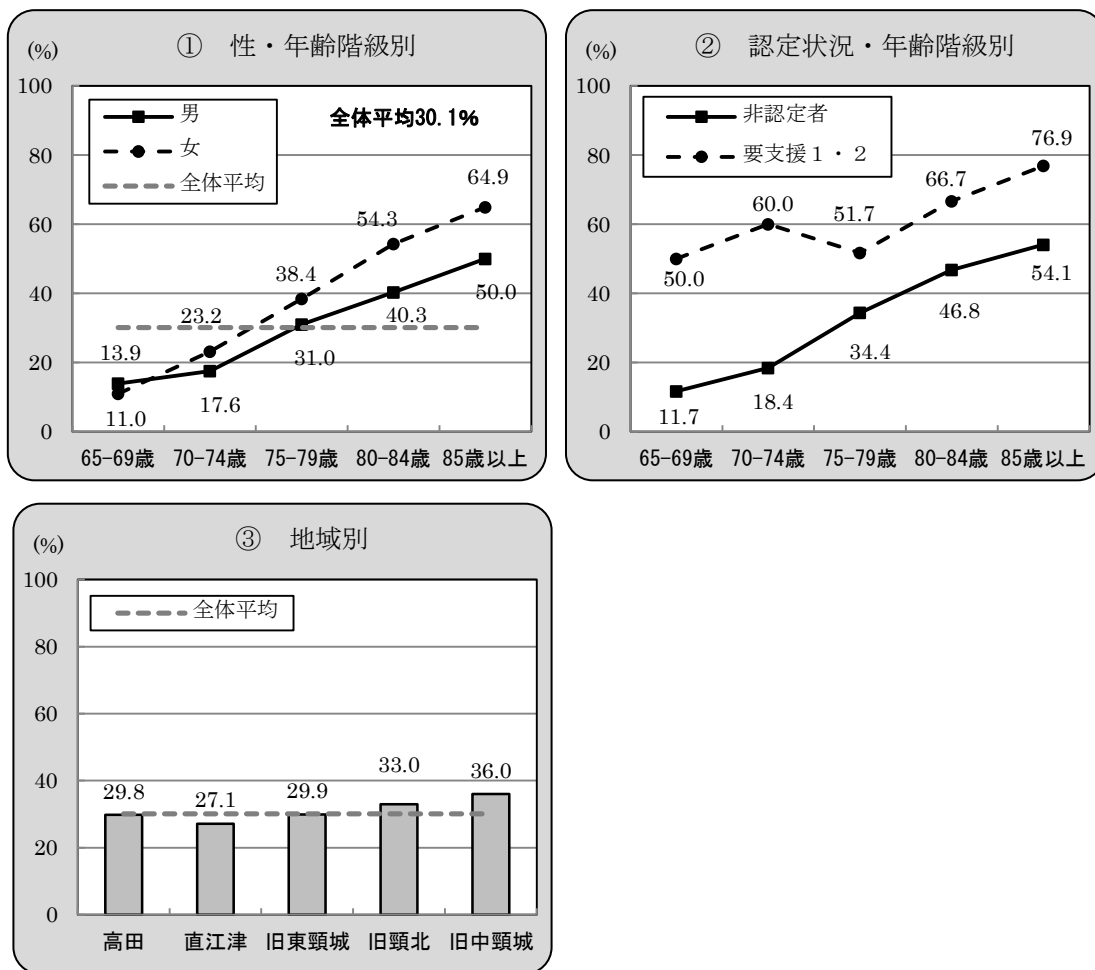
- ・ 男女ともに年齢が上がるほど「転倒リスク該当者」の割合が高くなっています。
- ・ 全般的に男性より女性が「転倒リスク該当者」の割合が高く、85歳以上では64.9%が「転倒リスク該当者」となっています。
- ・ 認定状況別に見ると、要支援1・2ではいずれの年齢においても50%を超える高い割合となっています。また、非認定者であっても、80歳以上の人は約半数の人が「転倒リスク該当者」となっています。
- ・ 地域別に見ると、旧直江津地域においては他の地域に比べて「転倒リスク該当者」の割合が低くなっています。

○ 評価方法

下記の5項目について、合計点数が6点以上の場合、転倒の「リスク該当者」として判定しました。

設問		はい	いいえ	無回答
問3 - 1	この1年間に転んだことがありますか (はい：5点 いいえ：0点)	494人	1,610人	165人
問3 - 3	背中が丸くなってきましたか (はい：2点 いいえ：0点)	816人	1,268人	185人
問3 - 4	以前に比べて歩く速度が遅くなってきた と思いますか (はい：2点 いいえ：0点)	1,388人	717人	164人
問3 - 5	杖を使っていますか (はい：2点 いいえ：0点)	314人	1,778人	177人
問8 - 3	現在、何種類の薬を飲んで いますか (5種類以上：2点、その他の回答：0点)	選択肢		回答者数
		1種類		298人
		2種類		370人
		3種類		342人
		4種類		282人
		5種類以上		546人
		飲んでいない		337人
無回答		94人		

図 2-3 : 転倒のリスク該当者の割合



(4) 低栄養

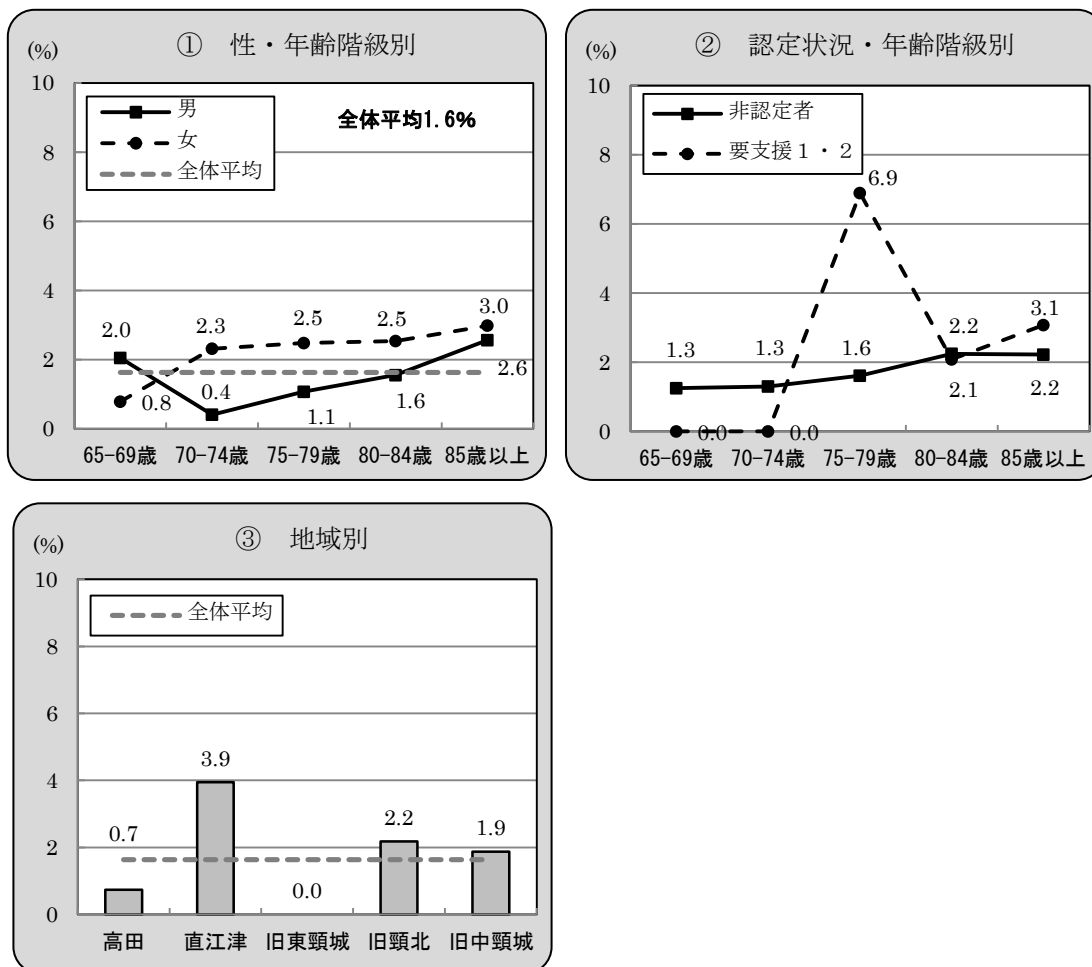
- ・ 認定状況別に見ると、要支援1・2の75歳～79歳で「低栄養リスク該当者」の割合が高くなっています。一方、BMI 18.5以下の人は、8.3%と低い割合にあります。
- ・ 地域別の比較では、旧東頸地域が「低栄養リスク該当者」無しに対して、旧直江津地域において「低栄養リスク該当者」が3.9%と他の地域よりも高い結果となっています。

○ 評価方法

下記の2項目について、全て該当する場合、低栄養の「リスク該当者」として判定しました。

設問		はい	いいえ	無回答
問4-1	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（該当：はい）	266人	1,847人	156人
問4-2	身長・体重 BMI（該当：18.5未満）	188人	1,949人	132人

図表2-4：低栄養のリスク該当者の割合



[関連設問]

○ 関連設問の回答状況

設問			回答者数
問4 - 9	1日の食事の回数は何回ですか	「2食」または「1食」	97人
問4 - 10	食事を抜くことがありますか	「毎日ある」または「週に何度かある」	97人
問6 - 6	食事は自分で食べられますか	「一部介助があればできる」または「できない」	14人
問4 - 11	自分一人ではなく、どなたかと食事をともにする機会がありますか	ほとんどない	136人
問4 - 11 -①	(どなたかと食事をともにする機会がある方のみ) 食事をともにする人はどなたですか (いくつでも)	1. 家族	1,758人
		2. 近所の人や友人	437人
		3. デイサービスの仲間	30人
		4. その他	126人
		無回答	51人

(5) 口腔

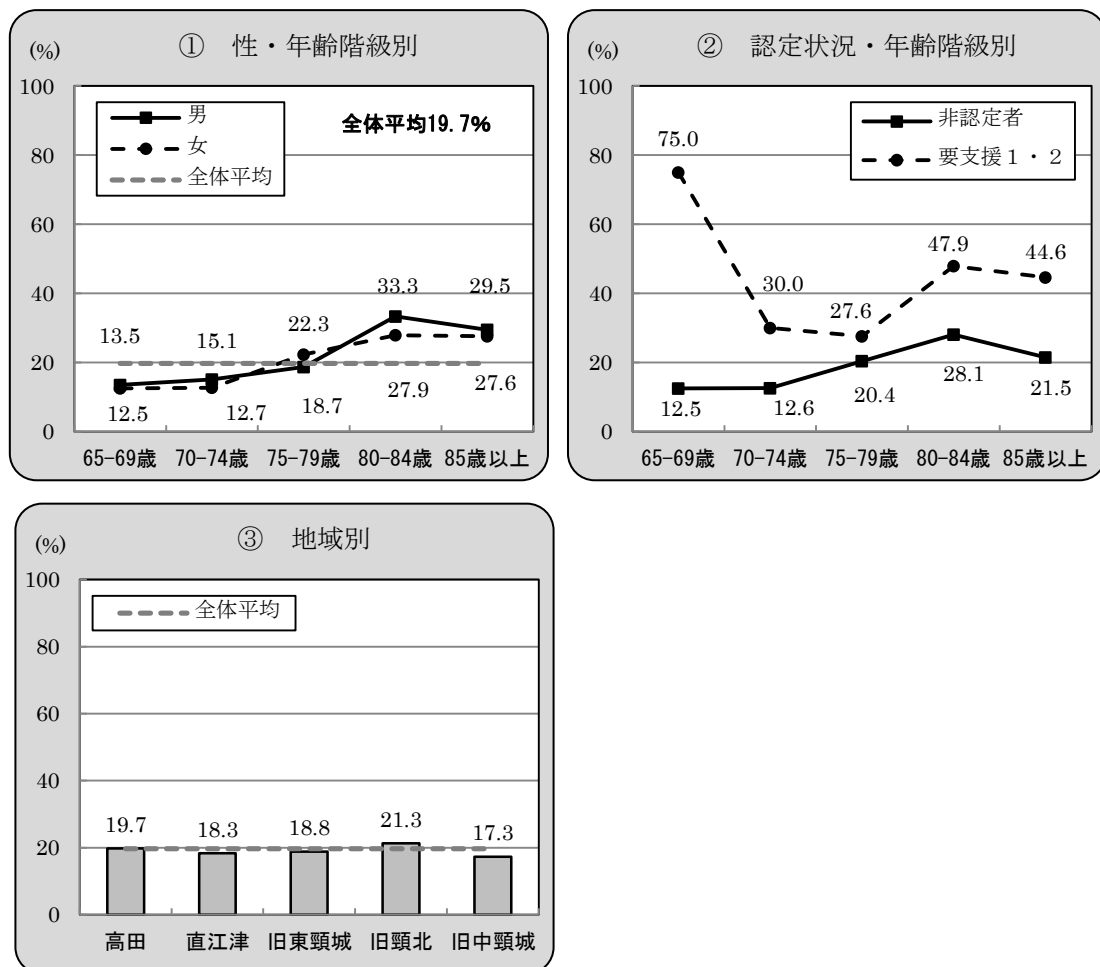
- ・ 「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」と感じている人が、30.5%となっています。
- ・ 地域別では、それほど大きな差は見られませんが、旧中頸地域では他の地域に比べて「口腔ケアリスク該当者」が低くなっています。

○ 評価方法

下記の3項目について、2項目以上該当する場合、口腔ケアの「リスク該当者」として判定しました。

設問		はい	いいえ	無回答
問4-3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(該当:はい)	692人	1,522人	55人
問4-4	お茶や汁物等でむせることがありますか(該当:はい)	466人	1,761人	42人
問4-5	口の渇きが気になりますか(該当:はい)	492人	1,728人	49人

図表 2-5 : 口腔ケアのリスク該当者の割合



[関連設問]

- ・ 「歯磨きを毎日している」が88.9%、「毎日入れ歯の手入れをしている」が92.7%と、口腔ケアを実施している人の割合は高くなっています。一方、「定期的に歯科受診をしている」人は38.0%にとどまっています。

○ 関連設問の回答状況

設問		はい	いいえ	無回答
問4-6	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	2,018人	203人	48人
問4-7	定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか	863人	1,333人	73人
問4-8 -①	（入れ歯のある方のみ）噛み合わせは良いですか	1,011人	169人	50人
問4-8 -②	（入れ歯のある方のみ）毎日入れ歯の手入れをしていますか	1,140人	66人	24人

(6) 認知

1) 評価方法①

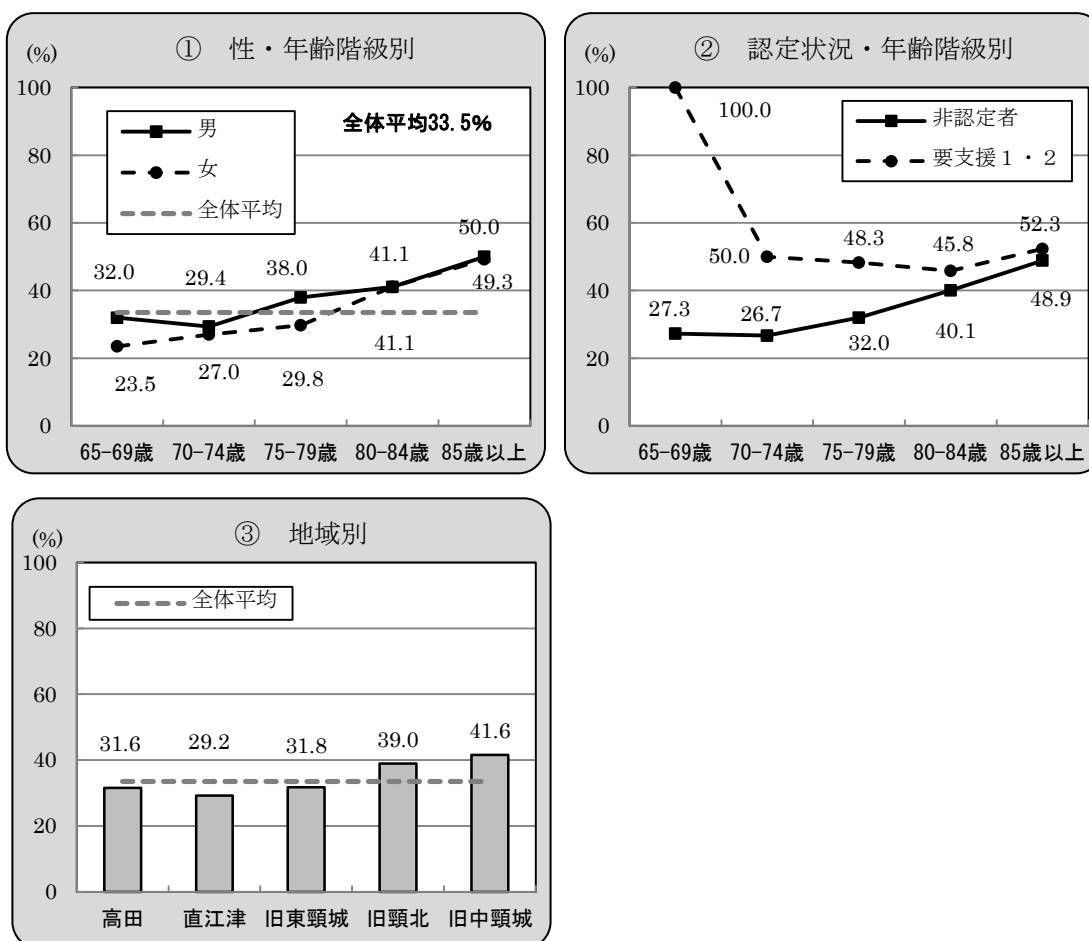
- ・ 性別による差異は認められず、男女ともに70歳以上では「認知機能低下のリスク該当者」は年齢が上がるごとに高くなっています。
- ・ 地域別に見ると、旧頸北地域が39%、旧中頸地域が41.6%と「認知機能低下のリスク該当者」の割合が高くなっています。

○ 評価方法

下記の3項目について、1項目以上該当する場合、認知機能低下の「リスク該当者」として判定しました。

設問		はい	いいえ	無回答
問5-1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか (該当：はい)	388人	1,793人	88人
問5-2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(該当：いいえ)	2,007人	219人	43人
問5-3	今日が何月何日かわからない時がありますか(該当：はい)	434人	1,785人	50人

図表 2-6-①：認知機能低下のリスク該当者の割合



[関連設問]

- ・ 全体の「認知機能低下のリスク該当者」の平均が 33.5%ですが、認知症で治療中の人は 1.2%と低くなっています。

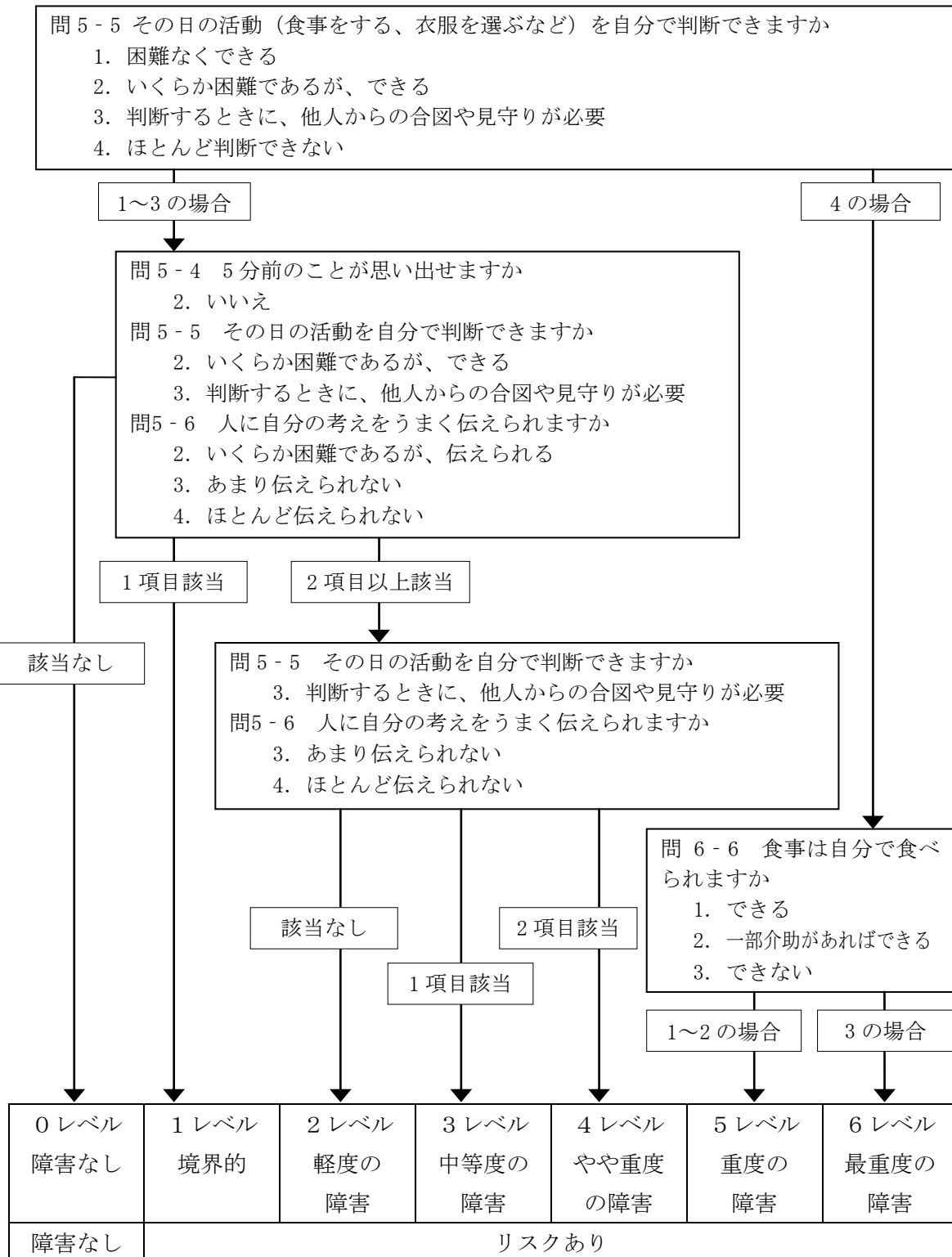
○ 関連設問の回答状況

設問			回答者数
問8 - 2	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	認知症	28人
問1 - 2 -①	(介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか	認知症	16人

2) 評価方法② 認知機能障害程度CPS

- ・ 女性より男性の方が「認知機能障害程度のリスク該当者」の割合は若干高く、男女ともに年齢が上がるごとに高くなっています。
- ・ 地域別に見ると、旧頸北地域が20.4%と高くなっています。

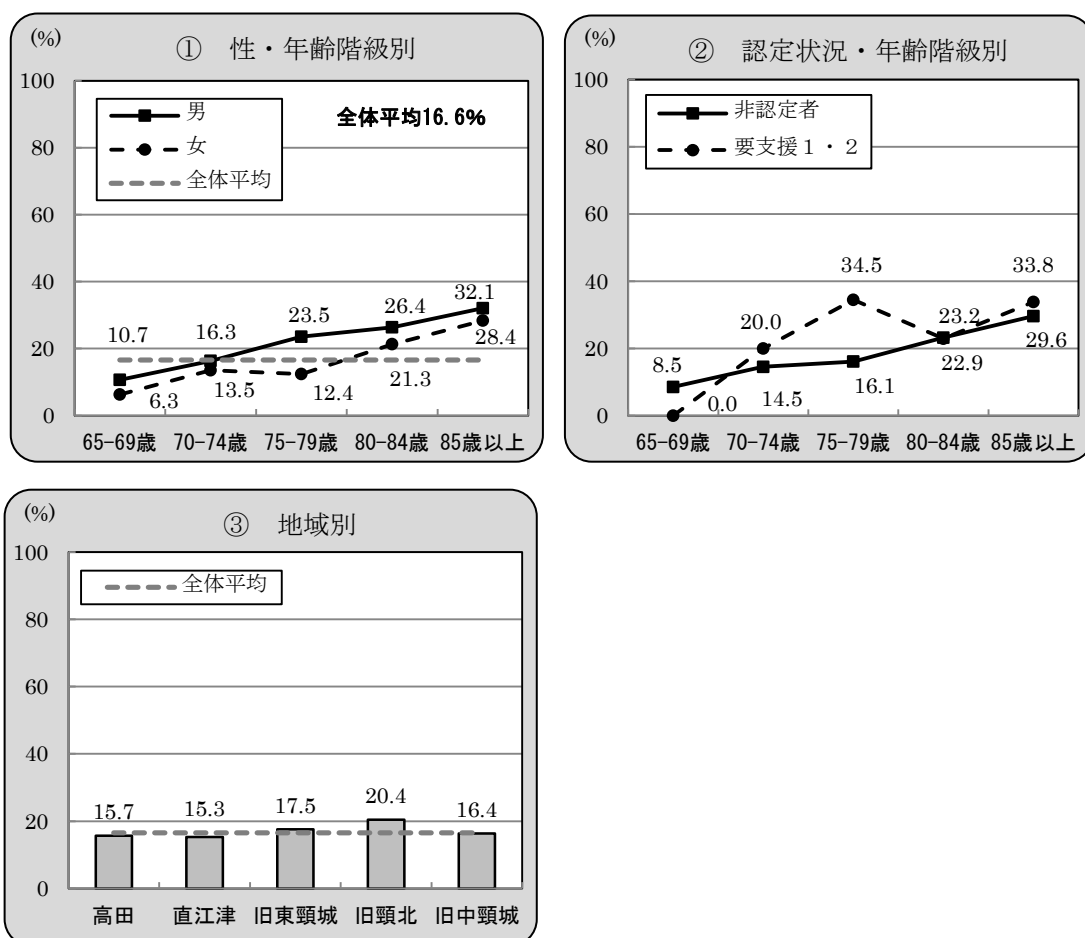
○ 評価方法（認知機能障害程度CPS）



○ 回答状況

設問		回答者数	
問5-4	5分前のことが思い出せますか	1. はい	2,027人
		2. いいえ	184人
		無回答	58人
問5-5	その日の活動（食事を する、衣服を選ぶなど） を自分で判断できますか	1. 困難なくできる	2,009人
		2. いくらか困難であるが、できる	172人
		3. 判断するときに、他人からの合図や 見守りが必要	8人
		4. ほとんど判断できない	14人
		無回答	66人
問5-6	人に自分の考えをうまく 伝えられますか	1. 伝えられる	1,649人
		2. いくらか困難であるが、伝えられる	209人
		3. あまり伝えられない	25人
		4. ほとんど伝えられない	8人
		無回答	378人
問6-6	食事は自分で食べられ ますか	1. できる	2,081人
		2. 一部介助があればできる	12人
		3. できない	2人
		無回答	174人

図表 2-6-②：認知機能障害程度（CPS）のリスク該当者



(7) うつ

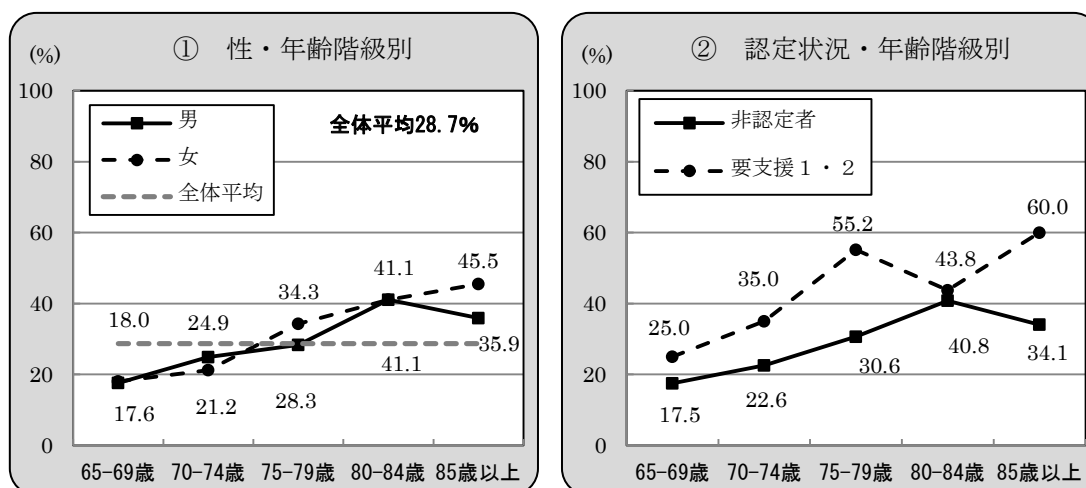
- ・ 男女ともに年齢が上がるほど「うつのリスク該当者」の割合が高くなっています。
- ・ 認定状況別に見ると、要支援1・2では75～79歳で「うつのリスク該当者」が55.2%、85歳以上では60%と高くなっています。
- ・ 地域別の比較では旧頸北地域が31.6%と他の地域によりも「うつのリスク該当者」が高い割合になっています。

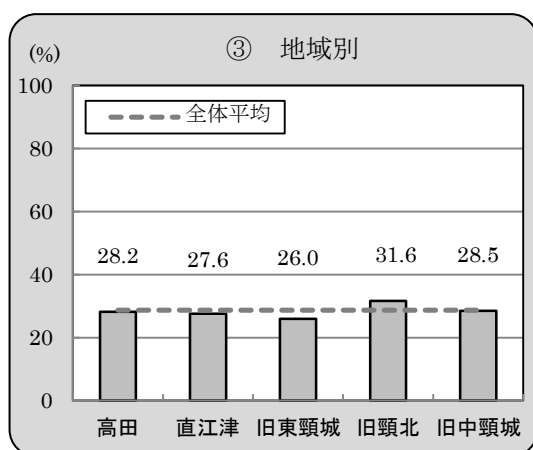
○ 評価方法

下記の5項目について、2項目以上該当する場合、うつの「リスク該当者」として判定しました。

設問		はい	いいえ	無回答
問8 - 10	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない (該当：はい)	426人	1,722人	121人
問8 - 11	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていた ことが楽しめなくなった (該当：はい)	320人	1,830人	119人
問8 - 12	(ここ2週間) 以前は楽にできていたこと が、今ではおっくうに感じられる (該当：はい)	723人	1,449人	97人
問8 - 13	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思え ない (該当：はい)	452人	1,710人	107人
問8 - 14	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じ がする (該当：はい)	535人	1,628人	106人

図表2-7：うつのリスク該当者の割合





[関連設問]

- ・ 主観的健康感について見ると、「あまり健康でない」または「健康でない」と回答した人が 555 人であり、全体の 24.5%となっています。

○ 関連設問の回答状況

設問		回答者数	
問8-1	普段、ご自分で健康だと思いますか	とても健康	183人
		まあまあ健康	1,456人
		あまり健康でない	401人
		健康でない	154人
		無回答	75人

(8) 虚弱

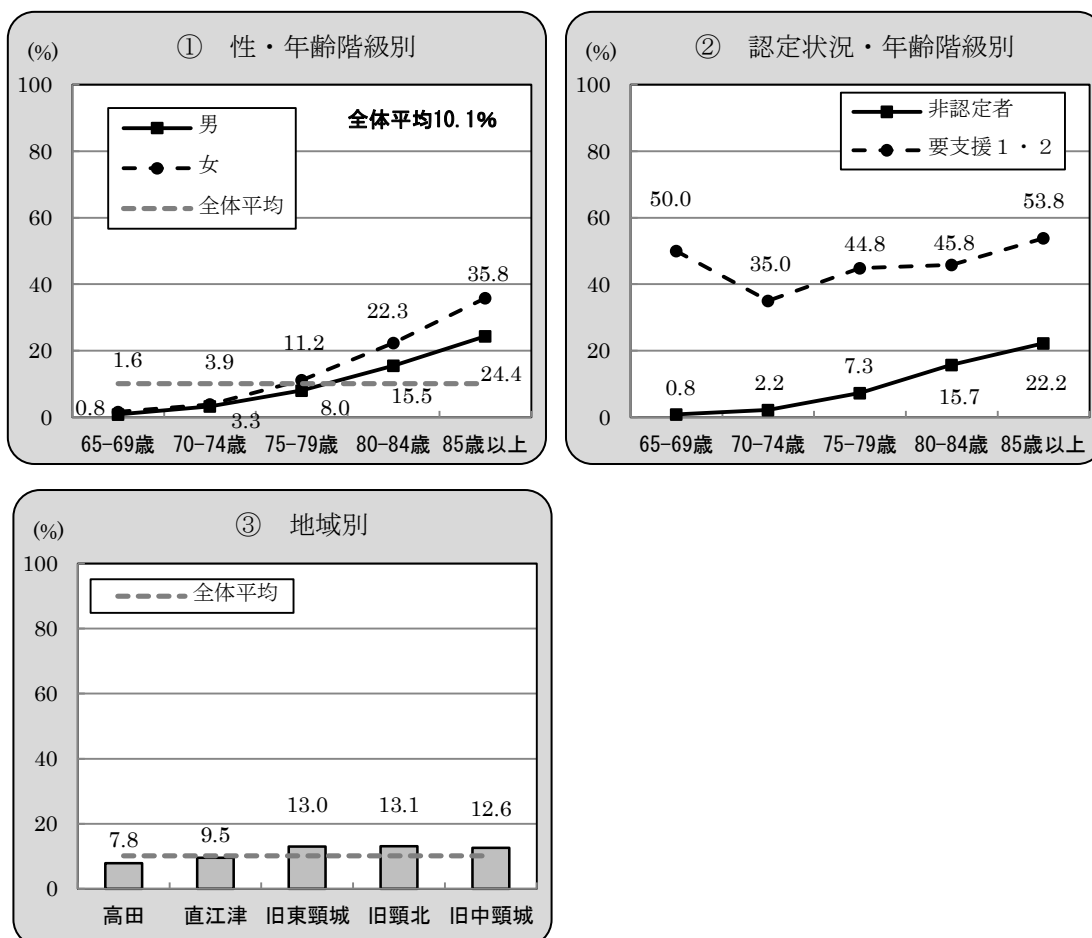
- ・ 男女とも年齢が上がるほど、「虚弱のリスク該当者」の割合が高くなっています。
- ・ 地域別の比較では、旧頸北地域、旧東頸地域において「虚弱リスク該当者」が13%以上となり他の地域よりも高くなる一方、高田地域では7.8%と「虚弱リスク該当者」の割合が低くなっています。

○ 評価方法

「(1)運動器」「(2)閉じこもり」「(4)低栄養」「(5)口腔」「(6)認知」に関する設問14項目と下記の6項目を合わせた20項目について、10項目以上該当を「虚弱のリスク該当者」として判定しました。

設問			回答者数
問2-6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	はい	693人
問6-1	バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	できない	178人
問6-2	日用品の買物をしていますか	できない	115人
問6-5	預貯金の出し入れをしていますか	できない	100人
問7-5	友人の家を訪ねていますか	いいえ	708人
問7-6	家族や友人の相談にのっていますか	いいえ	419人

図表2-8：虚弱のリスク該当者の割合



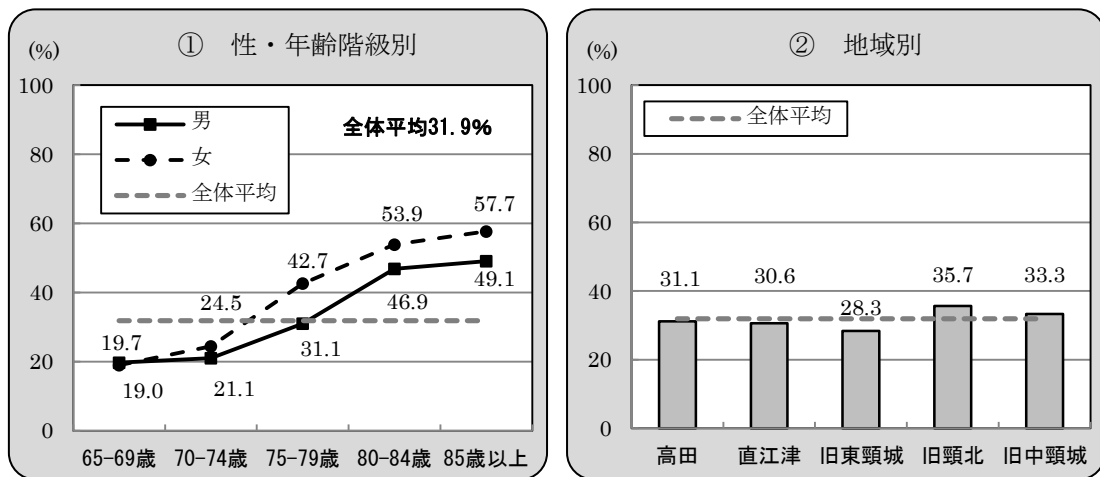
(9) 二次予防事業対象者

- ・ 二次予防事業対象者については、男女ともに年齢が上がるほど「対象者」の割合が高くなっており、全般的に男性より女性が高くなっています。
- ・ 地域別に見ると、旧頸北地域において「二次予防事業該当者」の割合が 35.7%と他の地域よりも高くなっており、その他の地域では「二次予防事業対象者」の割合はほぼ同じ水準となっています。

○ 評価方法

「(1)運動器」「(4)低栄養」「(5)口腔」「(8)虚弱」のいずれかで「リスク該当者」である場合、二次予防事業対象者として判定しています。

図表 2-9：二次予防事業対象者の割合（非認定者）



3 日常生活

(1) 手段的自立度（IADL）

手段的自立度とは、交通機関の利用や電話の対応、買い物、食事の支度、家事、洗濯、服薬管理、金銭管理など、活動的な日常生活を送るための動作の能力をいいます。

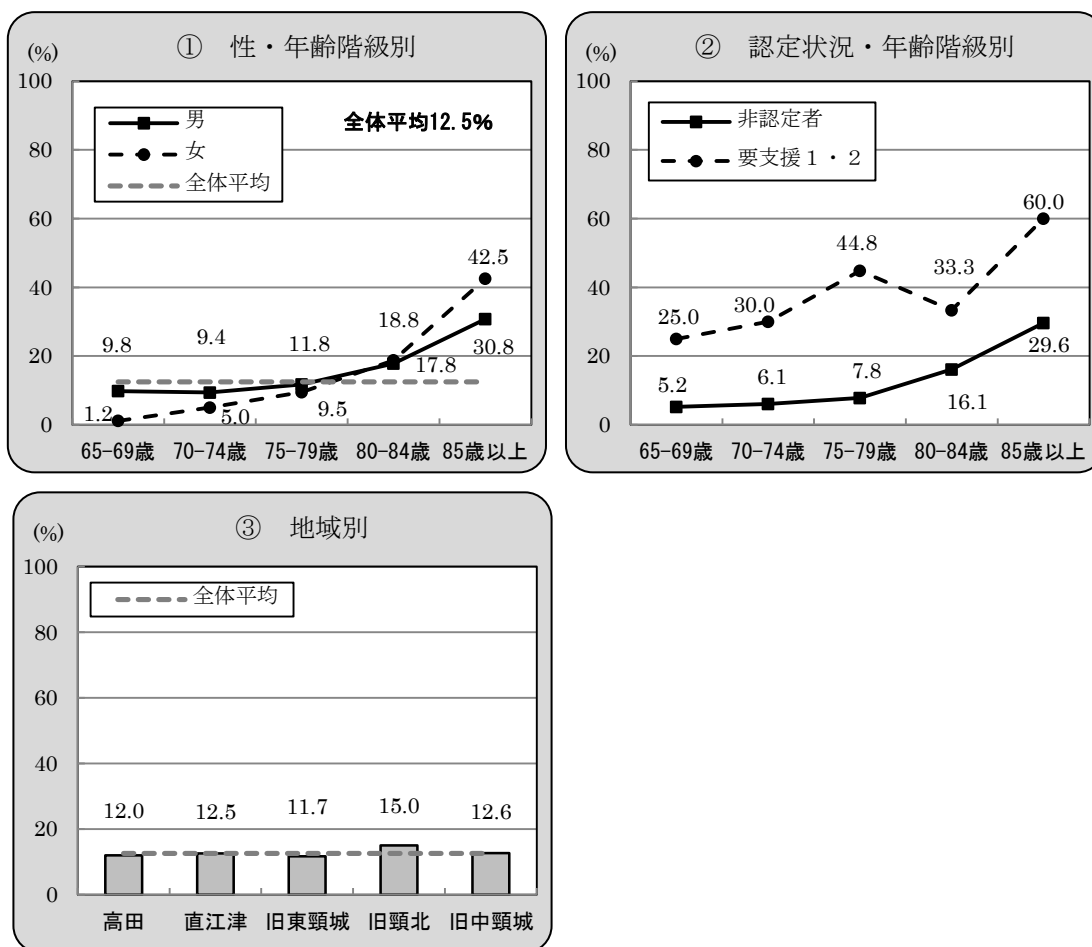
- ・ 全体のIADLの低下の割合は12.5%です。79歳未満では男性の低下の割合が女性に比べて低くなっていますが、80歳以上になると男女の割合が逆転します。
- ・ 認定状況別に見ると、要支援1・2では85歳以上になると「IADL低下該当者」の割合が急激に上昇しています。また、非認定者においては、「IADL低下該当者」の割合は低くなっていますが、80歳以上から高くなっています。
- ・ 地域別に見ると旧頸北地域において、「IADL低下該当者」の割合が他の地域よりも高くなっています。

○ 評価方法

下記の5項目について、1項目以上「できない」と回答した場合、「低下者」として判定しました。

設問		回答者数	
問6-1	バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している	1,626人
		できるけどしていない	257人
		できない	178人
		無回答	208人
問6-2	日用品の買物をしていますか	できるし、している	1,689人
		できるけどしていない	270人
		できない	115人
		無回答	195人
問6-3	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している	1,316人
		できるけどしていない	570人
		できない	175人
		無回答	208人
問6-4	請求書の支払いをしていますか	できるし、している	1,690人
		できるけどしていない	276人
		できない	84人
		無回答	219人
問6-5	預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している	1,678人
		できるけどしていない	311人
		できない	100人
		無回答	180人

図表 3-1：IADL 低下者該当者の割合



[関連設問]

- 「日用品の買い物」及び「食事の用意を主にする人」は「同居の家族」が最も多く、「家事全般ができていない」人は全体の 14.9%となっています。

○ 関連設問の回答状況

設問 (該当する回答)		回答者数	
問 6 - 2 -①	日用品の買い物をする人は主にどなたですか	同居の家族	286人
		別居の家族	30人
		ヘルパー	6人
		配達を依頼	4人
		その他	7人
		無回答	52人
問 6 - 3 -①	食事の用意をする人は主にどなたですか	同居の家族	614人
		別居の家族	8人
		ヘルパー	4人
		配食サービス利用	2人
		その他	5人
		無回答	112人
問 6 - 17	家事全般ができていますか	できていない	337人

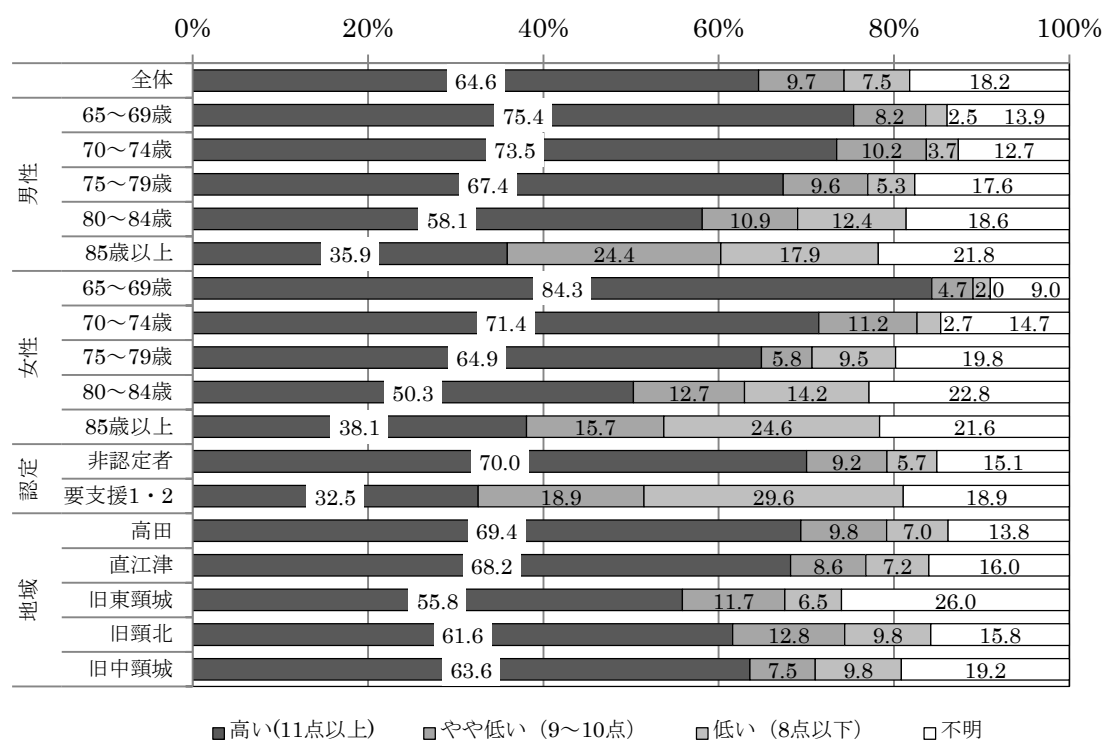
(2) 老研指標総合評価

- ・ 男女ともに「高い」割合は、年齢が上がるとともに減少し、85歳以下では4割以下となっています。
- ・ 認定状況別に見ると、「高い」割合が非認定者では70.0%、要支援者では32.5%であり、大きな開きが見られます。
- ・ 地域別の状況では、旧東頸城地域において「高い」の割合が55.8%であり、全体の「高い」割合64.6%に比べて、8.8ポイント低い結果となっています。

○ 評価方法

手段的自立度（IADL）に、知的能動性、社会的役割を加えた老研指標13項目による老研指標総合評価は、13点満点中11点以上を「高い」、9～10点を「やや低い」、8点以下を「低い」として評価しました。

図表3-2：生活機能総合評価結果



(3) 日常生活動作 (ADL)

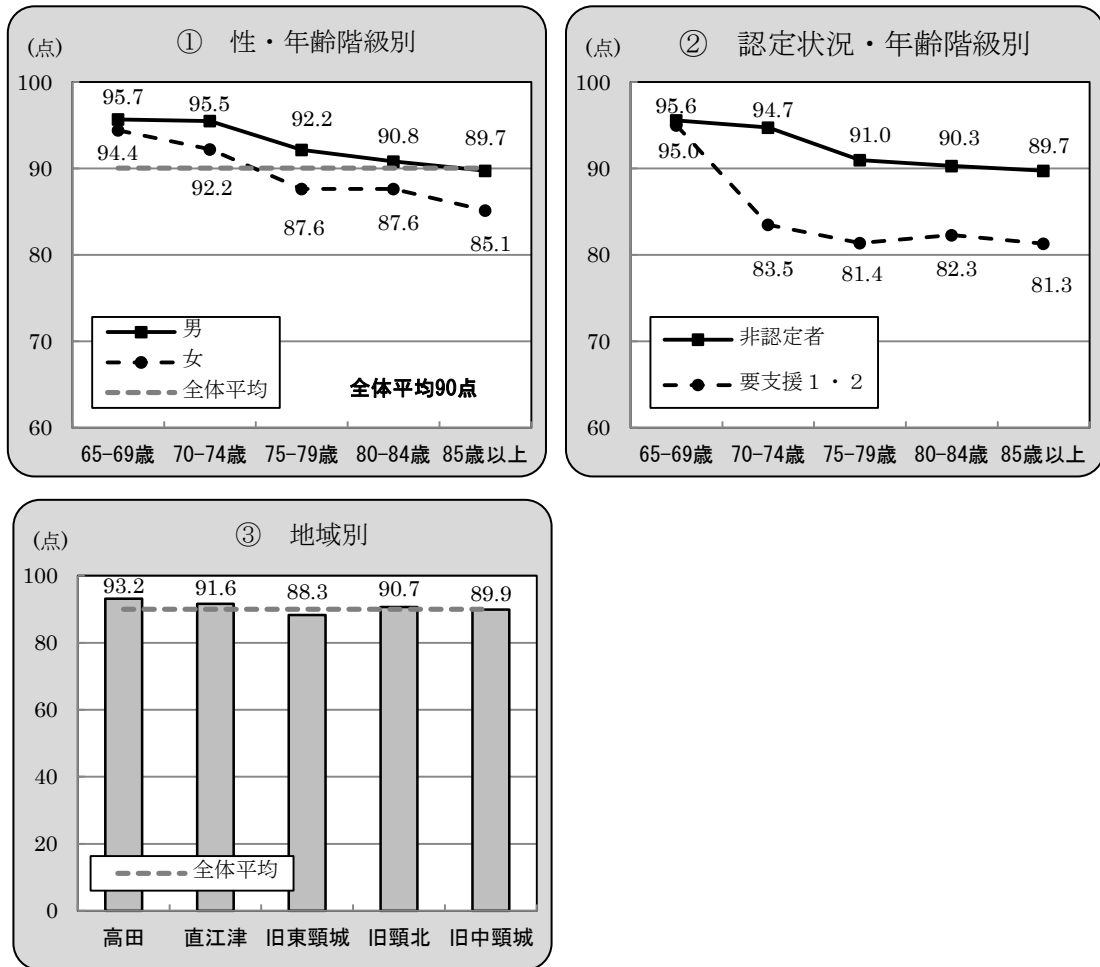
○ ADLの評価方法

下記の10項目について、パーセルインデックスの評価方法に従って、各設問で自立を5～15点とし、10項目の合計が100点満点となるよう判定しました。

設問		できる	一部介助なら可	できない
問6 - 6	食事は自分で食べられますか (できる：10点、一部介助なら可：5点、 できない：0点)	2,081人	12人	2人
設問		受けない	一部介助なら可	できない
問6 - 7	寝床に入るとき、なんらかの介助を受け ますか (受けない：15点、一部介助なら可：10 点、全面的な介助が必要：5点又は0点) ※問6 - 8 (座っていることができますか) の回答が「できる」「支えが必要」の場合5 点、「できない」の場合0点	2,054人	19人	3人
設問		できる	一部介助なら可	できない
問6 - 9	自分で洗面や歯磨きができますか (できる：5点、一部介助が必要及びでき ない：0点)	2,080人	9人	8人
問6 - 10	自分でトイレができますか (できる：10点、一部介助なら可：5点、 できない：0点)	2,088人	3人	6人
問6 - 11	自分で入浴ができますか (できる：5点、一部介助なら可及びでき ない：0点)	2,067人	17人	12人
問6 - 12	50m以上歩けますか (できる：15点、介助があれば可：10点、 できない：0点)	1,959人	53人	71人
設問		できる	介助があれば可	できない
問6 - 13	階段を昇り降りできますか (できる：10点、介助があれば可：5点、 できない：0点)	1,951人	77人	56人
問6 - 14	自分で着替えができますか (できる：10点、介助があれば可：5点、 できない0点)	2,066人	13人	5人
設問		ない	ときどきある	よくある
問6 - 15	大便の失敗がありますか (ない：10点、ときどきある：5点、よく ある：0点)	2,086人	102人	6人
問6 - 16	尿もれや尿失禁がありますか (ない：10点、ときどきある：5点、よく ある0点)	1,629人	521人	45人

- ・ ADLの合計得点の平均を見ると、男女とも年齢が上がるとともに得点が低下しており、男女の比較では全年齢層において女性の得点が低くなっています。
- ・ 認定状況別に見ると、非認定者では70歳以上から得点が急激に低下しています。
- ・ 地域別を見ると、旧東頸地域において平均得点が88.3点と全体の平均得点90点よりも低い結果となっています。また、高田地域においては、平均得点が93.2点と一番高い得点となっています。

図表 3-3 : ADLの得点



4 社会参加

(1) 知的能動性

知的能動性とは、役所の書類を書く、新聞や本などの読書、健康情報への関心など、余暇や創作など生活を楽しむ能力をいいます。

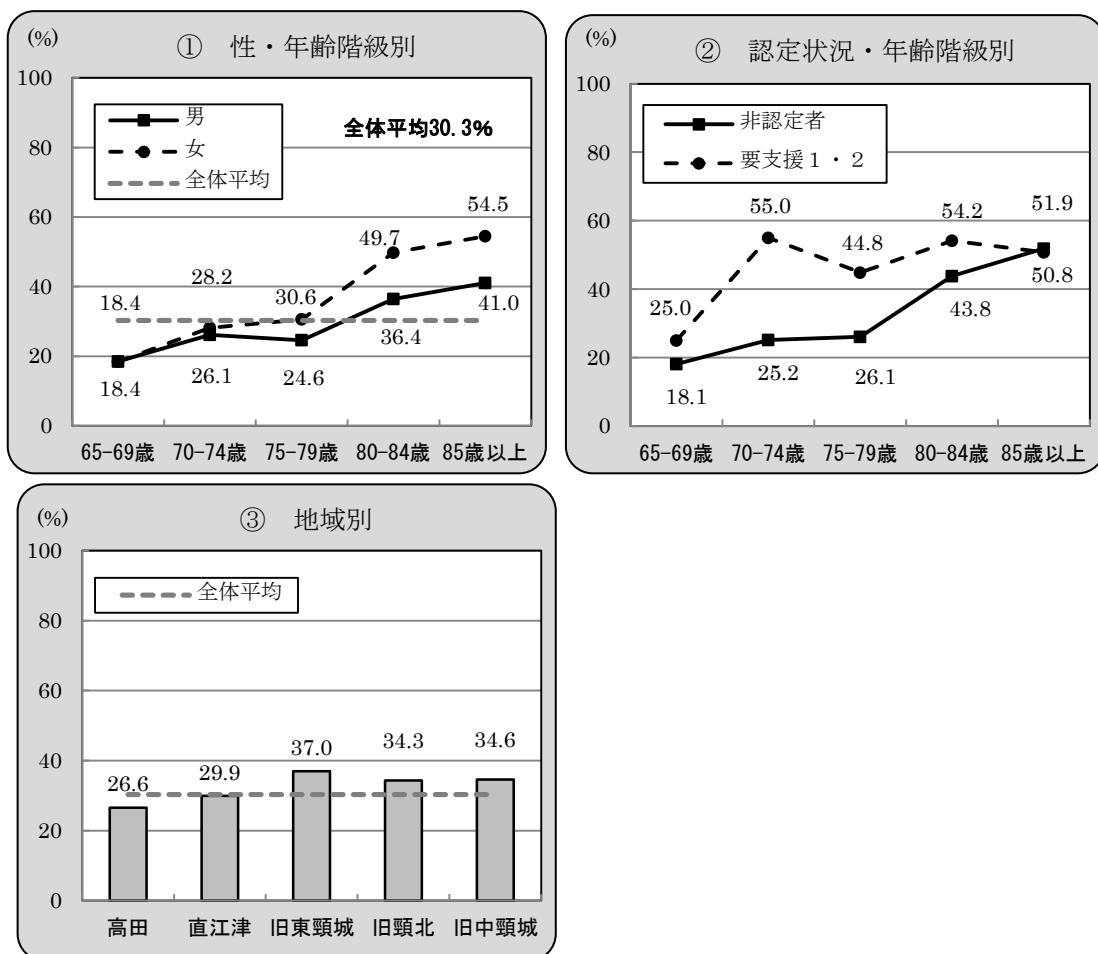
- ・ 女性は男性よりも年齢が上がるとともに「知的能動性の低下者」の割合が高くなり、85歳以上では54.5%になります。
- ・ 地域別に見ると、旧頸北地域34.3%、旧中頸城地域34.6%、旧東頸城地域37%と「知的能動性の低下者」の割合が高くなっています。

○ 評価方法

下記の4項目について、1項目以上「いいえ」と回答した場合、「低下者」として判定しました。

設問		はい	いいえ	無回答
問7-1	年金などの書類が書けますか	1,957人	263人	49人
問7-2	新聞を読んでいますか	2,042人	184人	43人
問7-3	本や雑誌を読んでいますか	1,718人	497人	54人
問7-4	健康についての記事や番組に関心がありますか	2,049人	176人	44人

図表4-1：知的能動性の低下者の割合



(2) 社会的役割

社会的役割とは、主に友人宅への訪問、他人の相談、見舞いなど、地域で社会的な役割を果たす能力をいいます。

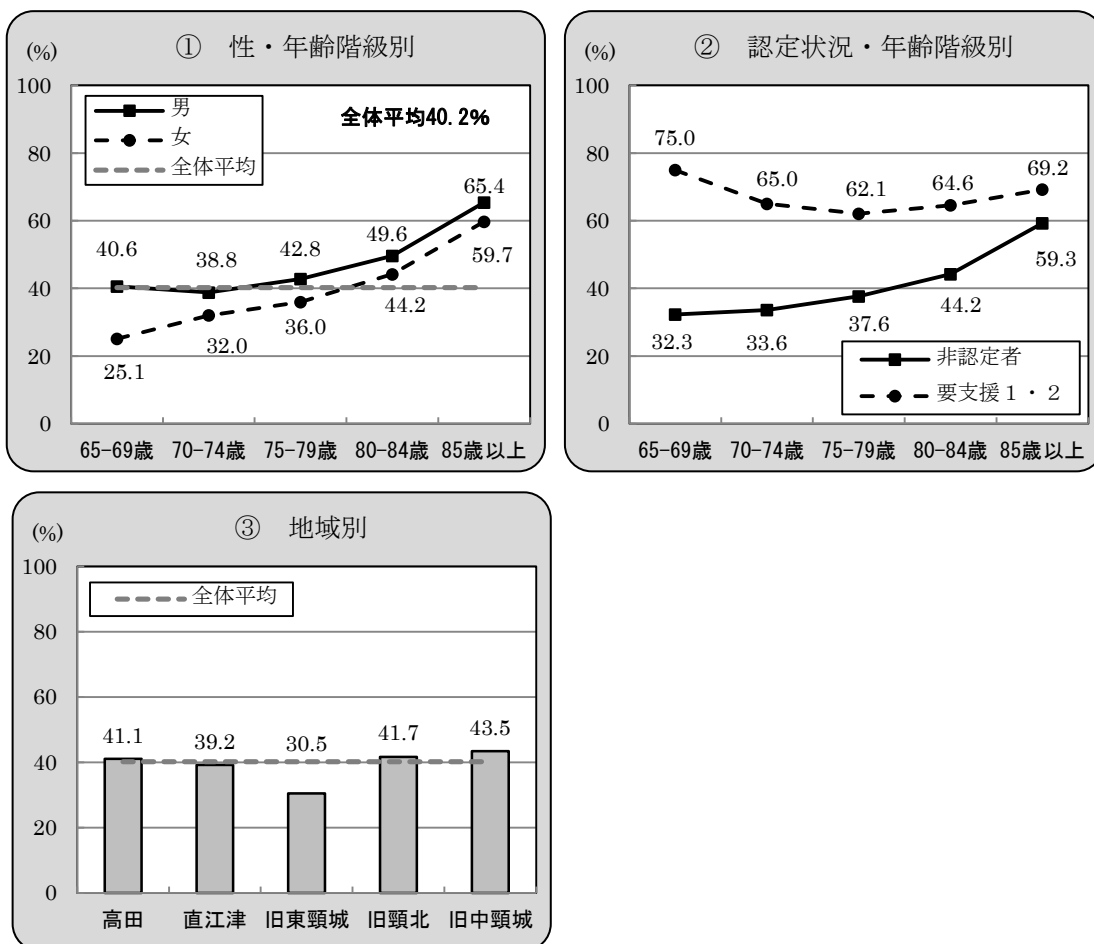
- ・ 男女とも年齢が上がるとともに「社会的役割の低下者」の割合は高くなり、女性よりも男性の方が高くなります。
- ・ 地域別に見ると、旧東頸城地域において「社会的役割の低下者」の割合が 30.5% と他の地域よりも低くなっており、全体の平均よりも約 10 ポイント程度低い結果となっています。一方、旧中頸城地域においては、「社会的役割の低下者」が 43.5% と他の地域よりも高い割合となっています。

○ 回答状況

下記の 4 項目について、1 項目以上「いいえ」と回答した場合、「低下者」として判定しました。

設問		はい	いいえ	無回答
問7-5	友人の家を訪ねていますか	1,511人	708人	50人
問7-6	家族や友人の相談にのっていますか	1,773人	419人	77人
問7-7	病人を見舞うことができますか	2,047人	177人	45人
問7-8	若い人に自分から話しかけることがありますか	1,816人	396人	57人

図表 4-2：社会的役割の低下者の割合

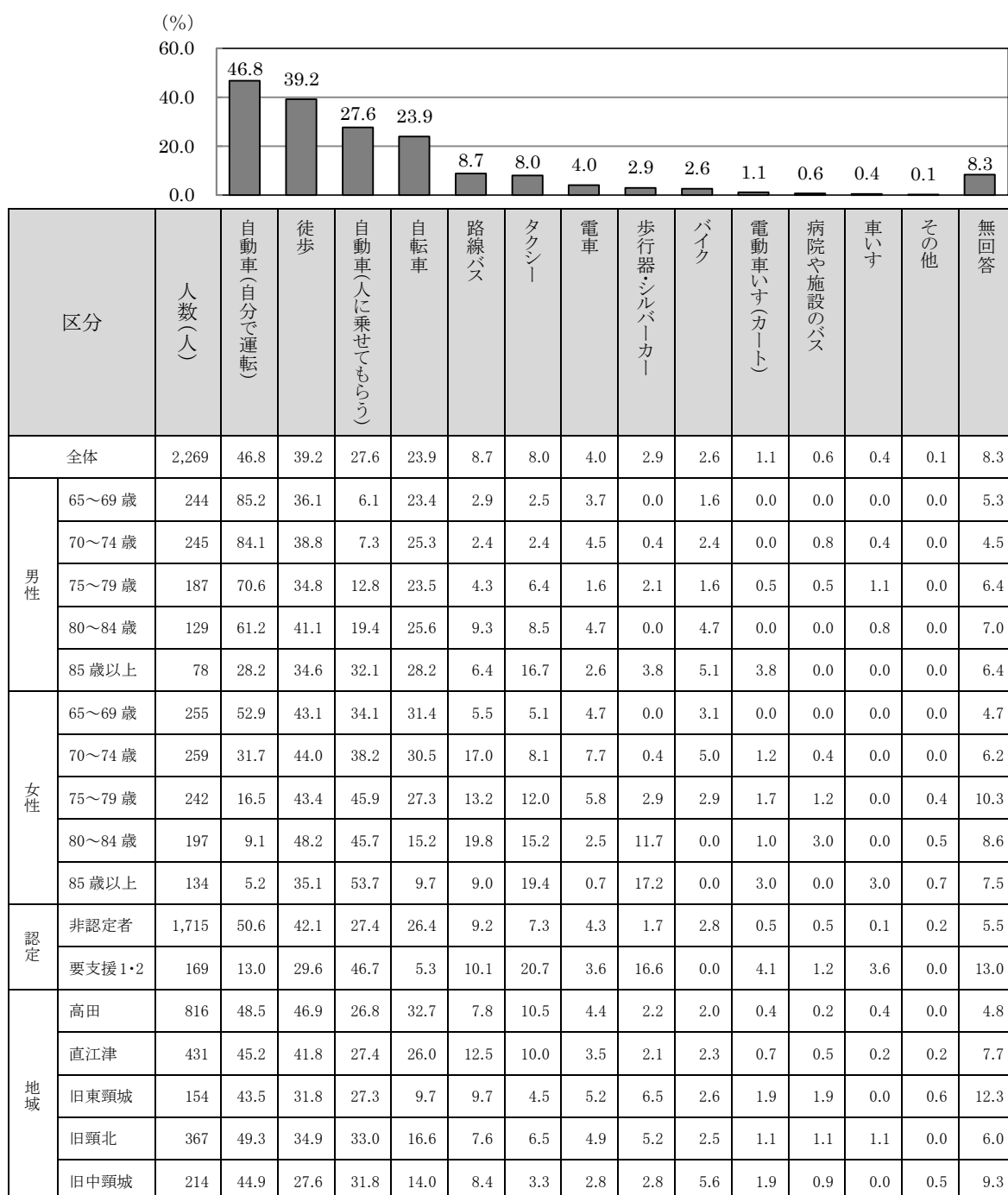


(3) 移動手段[問 2-9]※複数回答可

- ・ 外出する際の移動手段としては、「自動車（自分で運転）」が 46.8%と最も高く、次いで「徒歩」39.2%、「自動車（人に乗せてもらう）」27.6%の順となっています。
- ・ 男性では「自動車（自分で運転）」が最も高くなっているのに対し、女性では「徒歩」、「自動車（人に乗せてもらう）」が高くなっています。
- ・ 地域の状況では、旧東頸城地域において「自転車」の割合が他の地域よりも低い結果となっています。

○ 回答状況

図表 4-3：移動手段の割合（単位：％）



(4) 趣味や生きがい

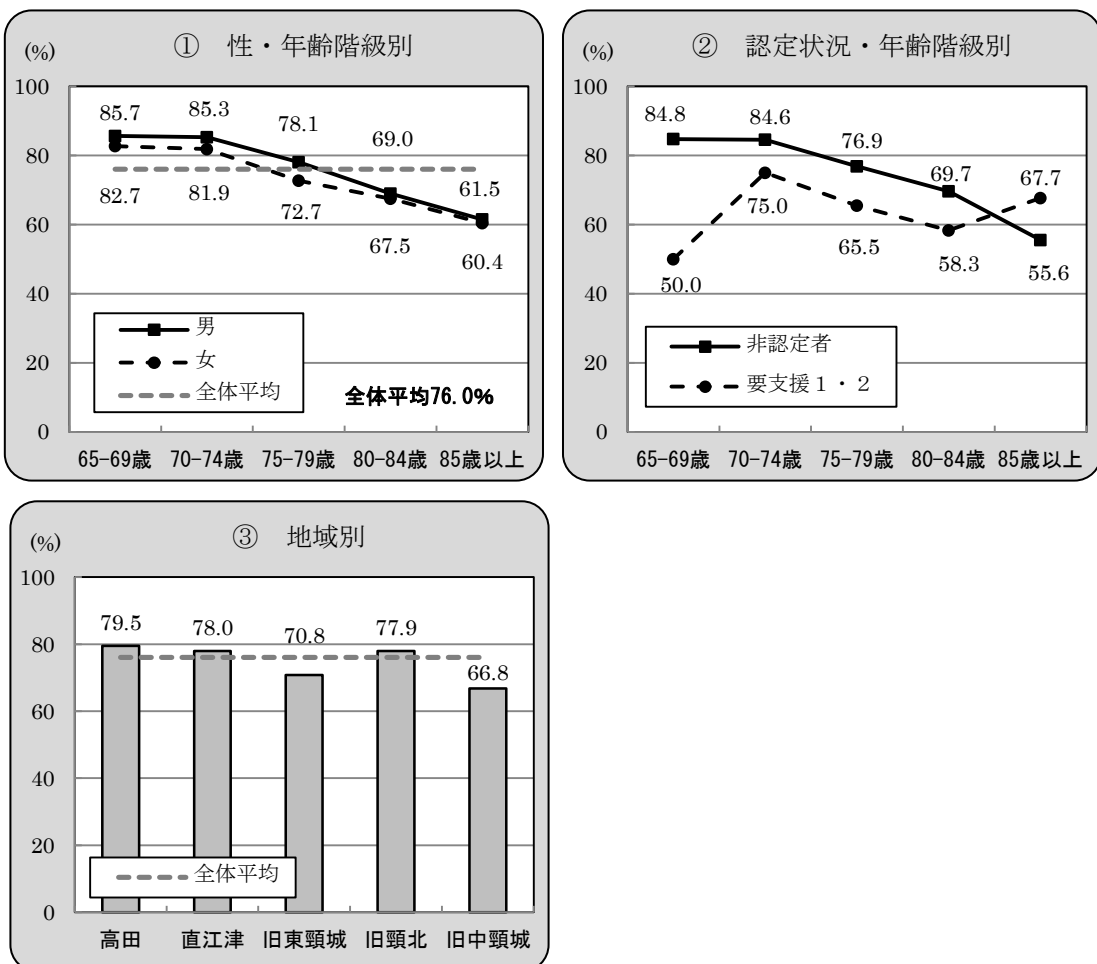
1) 趣味[問 7-9]

- ・ 趣味がある人は全体では、76.0%です。男女ともに年齢が上がるほど「趣味がある」人の割合が低くなっています。
- ・ 認定状況別に見ると、非認定者の人が要支援1・2の人に比べて「趣味がある」人の割合が高くなっていますが、85歳以上では要支援1・2の人と非認定者の割合が逆転しています。
- ・ 地域別に見ると、旧中頸城地域 66.8%、旧東頸城地域 70.8%と「趣味がある」人の割合が平均よりも低くなっています。

○ 回答状況

設問		はい	いいえ	無回答
問7-9	趣味はありますか	1,725人	480人	64人

図表 4-4：趣味がある人の割合



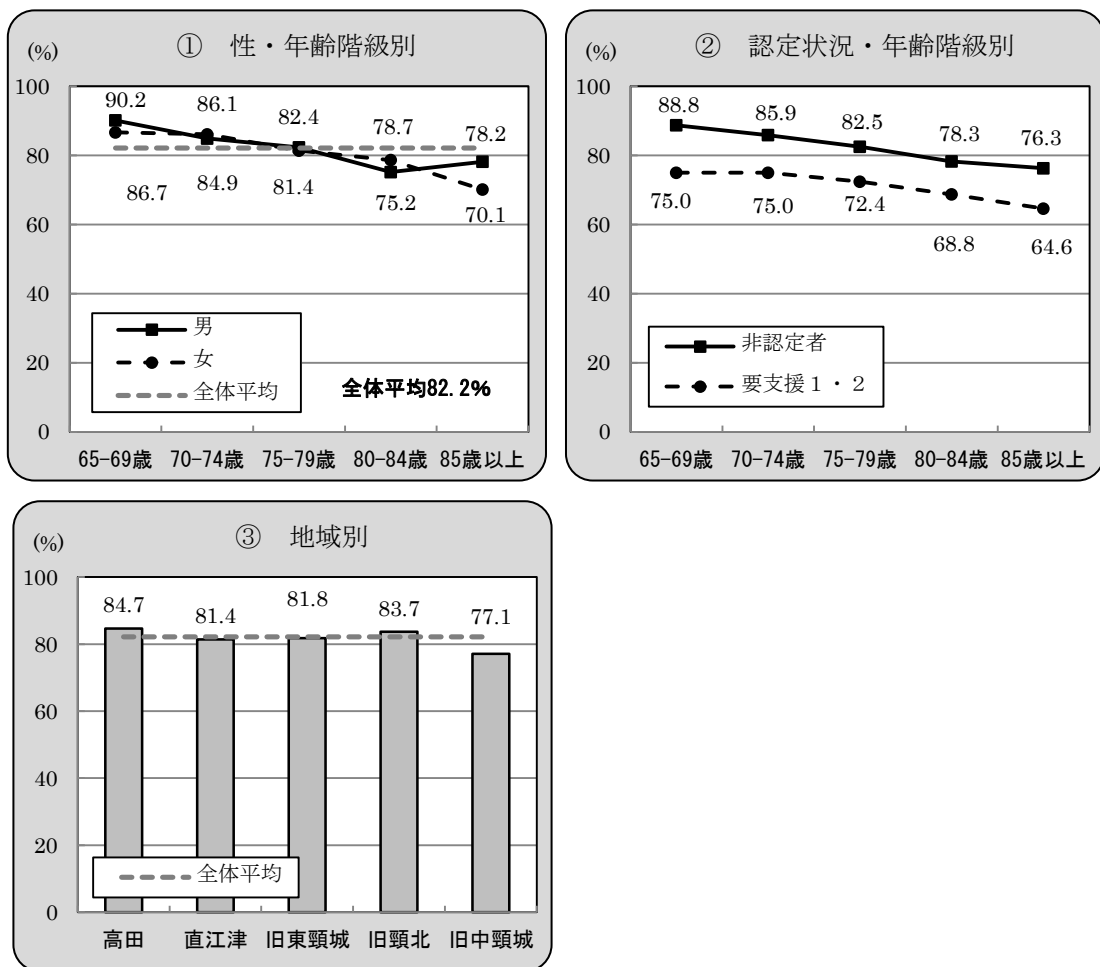
2) 生きがい[問7-10]

- ・ 男女ともに年齢が上がるにしたがい「生きがいがある」人の割合は低下します。
- ・ 認定状況別に見ると、非認定者、要支援1・2の人ともに年齢が上がるにしたがい「生きがいがある」人の割合は低下します。
- ・ 地域別に見ると、旧中頸城地域において「生きがいがある」人の割合が他の地域に比べて低くなっています。

○ 回答状況

設問		はい	いいえ	無回答
問7-10	生きがいがありますか	1,864人	292人	113人

図表4-5：生きがいがある人の割合



(5) 会・グループ等への参加頻度[問 7-11]

- ・ 会・グループ等に「参加している」割合は、⑤町内会・自治会 48.1%、③趣味関係のグループ 32.8%、④老人クラブ 29.8%、⑦その他の団体や会 28.6%、②スポーツ関係のグループ 24.3%、①ボランティアのグループ 23.4%、⑥学習・教養サークル 14.8%の順となっています。
- ・ 週 1 回以上の割合が高いものは、②スポーツ関係のグループ、③趣味関係のグループであり、⑤町内会・自治会は「年に数回」が最も高く 38.2%となっています。

○ 回答状況 (図表 4-6)

(単位:%)

設問	参加している内訳					参加している	参加していない	無回答
	週 4 回以上	週 2 から 3 回	週 1 回	月 1 から 3 回	年に数回			
①ボランティアのグループ	0.7	2.2	2.2	6.0	12.2	23.4	66.4	10.2
②スポーツ関係のグループ	1.5	5.7	5.4	5.2	6.6	24.3	66.5	9.2
③趣味関係のグループ	1.4	5.4	6.8	9.7	9.5	32.8	58.6	8.6
④老人クラブ	0.3	1.1	1.4	6.3	20.8	29.8	62.8	7.4
⑤町内会・自治会	0.7	0.9	1.1	7.1	38.2	48.1	44.6	7.3
⑥学習・教養サークル	0.4	0.9	1.9	4.1	7.4	14.8	77.1	8.2
⑦その他の団体や会	0.5	1.3	1.4	5.4	19.9	28.6	62.5	9.0

① ボランティアのグループへの参加頻度：図表 4-7

区分	人数 (人)	参加している内訳					参加している	参加していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	0.7	2.2	2.2	6.0	12.2	23.4	66.4	10.2	
男性	65～69歳	244	1.2	2.9	1.2	4.1	18.4	27.9	66.4	5.7
	70～74歳	245	1.2	2.4	3.3	4.5	21.6	33.1	60.4	6.5
	75～79歳	187	0.5	1.1	3.2	6.4	20.3	31.6	56.1	12.3
	80～84歳	129	0.0	3.9	3.1	4.7	14.0	25.6	62.0	12.4
	85歳以上	78	0.0	2.6	0.0	2.6	9.0	14.1	69.2	16.7
女性	65～69歳	255	0.4	2.0	1.2	4.7	10.6	18.8	75.3	5.9
	70～74歳	259	1.5	4.6	2.7	6.9	6.6	22.4	68.3	9.3
	75～79歳	242	0.8	1.7	1.7	9.1	11.2	24.4	62.8	12.8
	80～84歳	197	0.5	1.0	2.0	5.6	5.1	14.2	69.0	16.8
	85歳以上	134	0.7	3.0	1.5	3.0	0.0	8.2	83.6	8.2
認定	非認定者	1,715	0.8	2.5	2.0	5.6	12.9	23.8	66.5	9.7
	要支援1・2	169	1.2	1.2	1.2	4.1	4.1	11.8	76.3	11.8
地域	高田	816	0.7	2.3	1.7	5.0	11.0	20.8	71.3	7.8
	直江津	431	1.4	2.1	2.8	5.3	12.5	24.1	63.8	12.1
	旧東頸城	154	0.6	3.2	2.6	5.2	14.9	26.6	62.3	11.0
	旧頸北	367	0.3	3.5	2.2	6.5	13.1	25.6	63.8	10.6
	旧中頸城	214	0.9	1.4	1.9	5.1	13.1	22.4	65.9	11.7

② スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度：図表 4-8

区分	人数 (人)	参加している内訳					参加している	参加していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	1.5	5.7	5.4	5.2	6.6	24.3	66.5	9.2	
男性	65～69歳	244	1.6	4.5	4.9	4.5	11.5	27.0	67.6	5.3
	70～74歳	245	2.0	6.1	4.5	6.9	9.8	29.4	65.7	4.9
	75～79歳	187	2.1	4.3	3.2	8.0	9.6	27.3	64.7	8.0
	80～84歳	129	2.3	6.2	1.6	6.2	6.2	22.5	64.3	13.2
	85歳以上	78	0.0	3.8	1.3	3.8	7.7	16.7	70.5	12.8
女性	65～69歳	255	3.1	5.1	11.8	4.7	3.1	27.8	67.1	5.1
	70～74歳	259	1.2	11.2	8.9	3.5	4.6	29.3	62.5	8.1
	75～79歳	242	0.8	5.4	5.4	5.4	6.2	23.1	65.3	11.6
	80～84歳	197	0.5	7.1	2.5	6.1	4.6	20.8	65.5	13.7
	85歳以上	134	0.0	2.2	1.5	1.5	0.7	6.0	83.6	10.4
認定	非認定者	1,715	1.7	6.5	5.8	5.0	6.9	25.9	65.7	8.3
	要支援1・2	169	0.6	1.8	1.8	5.9	3.0	13.0	76.3	10.7
地域	高田	816	1.7	6.6	6.3	4.8	5.0	24.4	68.8	6.9
	直江津	431	1.9	5.3	4.4	5.1	6.5	23.2	66.1	10.7
	旧東頸城	154	0.6	3.2	3.2	5.8	11.7	24.7	64.3	11.0
	旧頸北	367	1.6	7.6	6.0	4.9	6.3	26.4	65.1	8.4
	旧中頸城	214	0.5	3.3	3.7	6.5	7.9	22.0	68.2	9.8

③ 趣味関係のグループへの参加頻度：図表 4-9

区分	人数 (人)	参加している内訳					参加している	参加していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	1.4	5.4	6.8	9.7	9.5	32.8	58.6	8.6	
男性	65～69歳	244	0.4	4.1	6.1	9.8	16.4	36.9	59.0	4.1
	70～74歳	245	1.2	5.7	6.1	9.0	16.3	38.4	56.3	5.3
	75～79歳	187	1.1	3.7	8.0	10.7	13.4	36.9	52.4	10.7
	80～84歳	129	0.8	5.4	0.8	7.0	7.8	21.7	66.7	11.6
	85歳以上	78	1.3	5.1	3.8	5.1	7.7	23.1	65.4	11.5
女性	65～69歳	255	1.6	4.7	10.6	13.3	6.7	36.9	58.8	4.3
	70～74歳	259	1.2	10.4	9.3	13.1	5.4	39.4	56.0	4.6
	75～79歳	242	2.9	6.6	8.3	12.0	5.0	34.7	52.9	12.4
	80～84歳	197	2.5	3.6	5.1	8.1	5.6	24.9	60.4	14.7
	85歳以上	134	0.7	3.0	3.7	3.0	4.5	14.9	77.6	7.5
認定	非認定者	1,715	1.6	5.8	7.0	10.1	9.6	34.1	58.1	7.8
	要支援1・2	169	0.6	2.4	4.1	7.7	4.1	18.9	69.8	11.2
地域	高田	816	2.5	6.3	7.7	10.2	8.7	35.3	58.6	6.1
	直江津	431	1.2	4.6	7.4	10.7	10.0	33.9	56.8	9.3
	旧東頸城	154	0.6	5.2	3.9	9.1	10.4	29.2	58.4	12.3
	旧頸北	367	0.3	5.7	7.4	9.5	9.8	32.7	59.4	7.9
	旧中頸城	214	0.5	3.3	3.3	8.9	7.5	23.4	66.4	10.3

④ 老人クラブへの参加頻度：図表 4-10

区分	人数 (人)	参加している内訳					参加している	参加していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	0.3	1.1	1.4	6.3	20.8	29.8	62.8	7.4	
男性	65～69歳	244	0.0	0.0	0.8	0.8	14.8	16.4	78.7	4.9
	70～74歳	245	0.4	1.2	1.2	6.5	24.9	34.3	61.6	4.1
	75～79歳	187	0.5	1.6	1.6	14.4	23.0	41.2	51.9	7.0
	80～84歳	129	0.0	2.3	1.6	8.5	25.6	38.0	52.7	9.3
	85歳以上	78	1.3	2.6	0.0	3.8	25.6	33.3	57.7	9.0
女性	65～69歳	255	0.0	0.4	0.8	1.6	10.6	13.3	80.4	6.3
	70～74歳	259	0.4	1.5	0.4	5.8	22.4	30.5	62.5	6.9
	75～79歳	242	0.4	0.8	2.1	9.1	27.3	39.7	52.1	8.3
	80～84歳	197	0.0	2.0	2.0	7.6	19.8	31.5	56.3	12.2
	85歳以上	134	0.0	0.7	2.2	7.5	18.7	29.1	65.7	5.2
認定	非認定者	1,715	0.3	1.3	1.2	6.1	20.8	29.7	63.4	6.9
	要支援1・2	169	0.0	0.6	1.2	7.7	19.5	29.0	63.3	7.7
地域	高田	816	0.2	1.1	0.9	5.1	17.4	24.8	69.5	5.8
	直江津	431	0.2	0.9	2.6	4.6	14.4	22.7	67.5	9.7
	旧東頸城	154	0.0	1.9	0.0	5.8	31.8	39.6	51.9	8.4
	旧頸北	367	0.3	0.8	1.1	8.7	24.3	35.1	58.6	6.3
	旧中頸城	214	0.5	1.9	1.4	10.3	31.8	45.8	47.2	7.0

⑤ 町内会・自治会への参加頻度：図表4-11

区分	人数 (人)	参加している内訳					参加している	参加していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	0.7	0.9	1.1	7.1	38.2	48.1	44.6	7.3	
男性	65～69歳	244	2.0	2.0	2.0	13.9	52.9	73.0	23.4	3.7
	70～74歳	245	2.9	2.0	1.6	9.8	52.2	68.6	27.8	3.7
	75～79歳	187	0.0	0.5	3.2	10.2	48.1	62.0	32.1	5.9
	80～84歳	129	0.0	1.6	0.0	9.3	39.5	50.4	41.1	8.5
	85歳以上	78	1.3	0.0	0.0	5.1	16.7	23.1	70.5	6.4
女性	65～69歳	255	0.4	0.0	0.8	4.3	35.7	41.2	54.1	4.7
	70～74歳	259	0.0	0.4	0.4	4.6	38.2	43.6	49.4	6.9
	75～79歳	242	0.0	0.0	0.4	3.7	37.2	41.3	48.3	10.3
	80～84歳	197	0.5	0.0	1.0	4.1	24.9	30.5	58.4	11.2
	85歳以上	134	0.7	0.7	0.7	2.2	17.2	21.6	70.9	7.5
認定	非認定者	1,715	0.7	0.9	1.2	7.6	40.3	50.7	42.7	6.6
	要支援1・2	169	0.0	0.0	1.2	1.8	20.1	23.1	69.8	7.1
地域	高田	816	1.0	1.0	0.9	6.3	37.3	46.3	47.9	5.8
	直江津	431	0.7	0.2	1.4	6.5	40.4	49.2	43.2	7.7
	旧東頸城	154	0.0	1.9	1.9	14.9	38.3	57.1	36.4	6.5
	旧頸北	367	0.3	0.5	1.1	5.4	39.8	47.1	44.4	8.4
	旧中頸城	214	1.9	0.5	0.9	6.5	38.8	48.6	45.3	6.1

⑥ 学習・教養サークルへの参加頻度：図表4-12

区分	人数 (人)	参加している内訳					参加している	参加していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	0.4	0.9	1.9	4.1	7.4	14.8	77.1	8.2	
男性	65～69歳	244	0.4	0.4	0.8	2.0	9.0	12.7	83.2	4.1
	70～74歳	245	1.2	1.2	1.6	4.9	12.2	21.2	73.1	5.7
	75～79歳	187	0.0	0.0	3.7	0.5	11.2	15.5	75.9	8.6
	80～84歳	129	0.0	1.6	0.0	5.4	4.7	11.6	77.5	10.9
	85歳以上	78	0.0	0.0	1.3	3.8	9.0	14.1	78.2	7.7
女性	65～69歳	255	0.4	0.8	1.2	5.9	5.9	14.1	80.8	5.1
	70～74歳	259	0.0	1.9	3.9	7.7	8.5	22.0	70.7	7.3
	75～79歳	242	0.8	0.8	2.9	4.1	7.4	16.1	74.4	9.5
	80～84歳	197	0.0	0.5	2.0	3.0	3.0	8.6	77.7	13.7
	85歳以上	134	0.0	0.0	1.5	2.2	0.7	4.5	88.1	7.5
認定	非認定者	1,715	0.4	0.9	2.1	4.5	7.9	15.8	76.4	7.8
	要支援1・2	169	0.0	0.6	0.6	1.8	4.1	7.1	85.8	7.1
地域	高田	816	0.5	1.0	3.2	4.7	6.5	15.8	77.8	6.4
	直江津	431	0.5	1.2	0.7	3.2	9.3	14.8	75.4	9.7
	旧東頸城	154	0.0	0.6	0.0	6.5	7.8	14.9	76.0	9.1
	旧頸北	367	0.0	0.5	1.9	4.1	7.6	14.2	77.9	7.9
	旧中頸城	214	0.5	0.0	1.9	2.3	7.0	11.7	80.8	7.5

⑦ その他の団体や会への参加頻度：図表4-13

区分	人数 (人)	参加している内訳					参加している	参加していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	0.5	1.3	1.4	5.4	19.9	28.6	62.5	9.0	
男性	65～69歳	244	0.8	2.0	1.2	6.1	33.6	43.9	52.0	4.1
	70～74歳	245	1.6	1.6	0.8	5.3	32.7	42.0	51.8	6.1
	75～79歳	187	1.6	2.1	2.7	8.6	22.5	37.4	52.9	9.6
	80～84歳	129	0.0	1.6	0.0	3.1	19.4	24.0	63.6	12.4
	85歳以上	78	0.0	1.3	1.3	2.6	19.2	24.4	69.2	6.4
女性	65～69歳	255	0.8	1.2	1.6	6.3	16.9	26.7	67.5	5.9
	70～74歳	259	0.0	1.9	1.9	6.6	14.7	25.1	66.4	8.5
	75～79歳	242	0.0	0.0	0.8	4.5	16.5	21.9	65.3	12.8
	80～84歳	197	0.0	1.0	1.0	5.1	12.7	19.8	66.0	14.2
	85歳以上	134	0.0	1.5	2.2	4.5	5.2	13.4	79.9	6.7
認定	非認定者	1,715	0.6	1.5	1.3	5.9	20.8	30.1	61.3	8.6
	要支援1・2	169	0.0	1.8	1.2	4.7	10.1	17.8	75.1	7.1
地域	高田	816	0.9	1.5	1.3	7.1	18.0	28.8	64.3	6.9
	直江津	431	0.5	1.2	0.7	5.3	19.5	27.1	62.6	10.2
	旧東頸城	154	0.0	2.6	0.0	3.2	27.3	33.1	57.8	9.1
	旧頸北	367	0.5	0.8	2.7	5.4	20.4	30.0	60.5	9.5
	旧中頸城	214	0.0	1.9	1.4	2.3	22.0	27.6	62.6	9.8

(6) 社会参加活動や仕事の活動頻度[問 7-12]

- ・ 社会参加活動や仕事について、「活動している」割合は、④地域の生活環境の改善（美化）活動 30.0%、⑤収入のある仕事 21.9%、①見守りが必要な高齢者を支援する活動 9.6%、②介護が必要な高齢者を支援する活動 6.8%、③子どもを育てている親を支援する活動 6.3%の順となっています。
- ・ 週 2～3 回以上の割合が高いものは、⑤収入のある仕事であり、④地域の生活環境の改善（美化）活動は「年に数回」が最も高く 26.9%となっています。

○ 回答状況（図表 4-14）

（単位：％）

設問	活動している内訳					活動している	活動していない	無回答
	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回			
①見守りが必要な高齢者を支援する活動	0.9	0.8	0.9	2.2	4.6	9.6	72.7	17.8
②介護が必要な高齢者を支援する活動	1.0	0.6	0.6	1.3	3.3	6.8	75.7	17.5
③子どもを育てている親を支援する活動	1.2	0.7	0.4	0.6	3.2	6.3	75.7	18.0
④地域の生活環境の改善（美化）活動	0.1	0.2	0.5	2.2	26.9	30.0	52.7	17.4
⑤収入のある仕事	9.2	4.1	0.8	2.3	5.5	21.9	61.1	17.0

① 見守りが必要な高齢者を支援する活動：図表4-15

区分	人数(人)	活動している内訳					活動している	活動していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	0.9	0.8	0.9	2.2	4.6	9.6	72.7	17.8	
男性	65～69歳	244	2.5	1.2	0.8	3.3	8.6	16.4	72.1	11.5
	70～74歳	245	1.2	0.8	0.4	3.3	7.3	13.1	77.1	9.8
	75～79歳	187	0.0	1.1	1.6	3.2	10.2	16.0	69.5	14.4
	80～84歳	129	0.8	0.8	0.8	0.0	2.3	4.7	76.7	18.6
	85歳以上	78	0.0	0.0	1.3	2.6	2.6	6.4	69.2	24.4
女性	65～69歳	255	1.6	2.0	1.6	2.7	3.5	11.4	76.9	11.8
	70～74歳	259	1.9	1.5	1.2	3.1	1.9	9.7	76.4	13.9
	75～79歳	242	0.4	0.0	0.4	1.2	5.4	7.4	72.7	19.8
	80～84歳	197	0.0	0.0	0.0	0.5	2.0	2.5	73.6	23.9
	85歳以上	134	0.0	0.0	0.0	0.7	1.5	2.2	79.9	17.9
認定	非認定者	1,715	1.0	0.9	0.9	2.4	5.1	10.4	74.8	14.9
	要支援1・2	169	0.6	0.0	0.6	0.6	2.4	4.1	76.3	19.5
地域	高田	816	1.3	1.0	0.7	2.0	3.9	8.9	78.8	12.3
	直江津	431	1.2	0.7	1.4	1.9	4.2	9.3	72.4	18.3
	旧東頸城	154	0.6	0.6	0.6	1.9	11.0	14.9	64.9	20.1
	旧頸北	367	0.5	0.8	0.8	2.7	4.6	9.5	73.3	17.2
	旧中頸城	214	0.5	0.9	0.0	3.3	5.6	10.3	72.0	17.8

② 介護が必要な高齢者を支援する活動：図表4-16

区分	人数(人)	活動している内訳					活動している	活動していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	1.0	0.6	0.6	1.3	3.3	6.8	75.7	17.5	
男性	65～69歳	244	2.5	1.2	0.4	0.4	5.7	10.2	78.7	11.1
	70～74歳	245	0.4	0.8	0.4	1.6	2.9	6.1	84.9	9.0
	75～79歳	187	1.6	0.0	0.5	0.5	6.4	9.1	74.9	16.0
	80～84歳	129	0.8	0.0	1.6	0.0	3.9	6.2	76.0	17.8
	85歳以上	78	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	74.4	24.4
女性	65～69歳	255	1.6	1.2	0.4	3.5	2.4	9.0	80.0	11.0
	70～74歳	259	1.9	1.2	1.2	2.3	1.5	8.1	77.6	14.3
	75～79歳	242	0.8	0.4	0.0	1.7	3.7	6.6	75.2	18.2
	80～84歳	197	0.0	0.0	0.5	0.5	2.5	3.6	72.1	24.4
	85歳以上	134	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	3.0	78.4	18.7
認定	非認定者	1,715	1.2	0.7	0.5	1.5	3.4	7.3	78.2	14.5
	要支援1・2	169	0.6	0.6	0.6	0.0	0.6	2.4	78.1	19.5
地域	高田	816	1.6	0.6	0.6	1.5	2.8	7.1	80.6	12.3
	直江津	431	0.9	0.5	0.7	1.2	3.2	6.5	75.4	18.1
	旧東頸城	154	0.6	0.6	1.3	1.9	6.5	11.0	69.5	19.5
	旧頸北	367	0.3	1.4	0.0	0.5	2.7	4.9	78.2	16.9
	旧中頸城	214	1.4	0.0	0.5	1.9	3.7	7.5	75.2	17.3

③ 子どもを育てている親を支援する活動：図表4-17

区分	人数(人)	活動している内訳					活動している	活動していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	1.2	0.7	0.4	0.6	3.2	6.3	75.7	18.0	
男性	65～69歳	244	1.2	1.6	0.0	1.2	4.1	8.2	80.7	11.1
	70～74歳	245	2.4	0.4	1.2	1.2	6.5	11.8	78.4	9.8
	75～79歳	187	1.6	0.5	0.5	0.5	7.5	10.7	71.1	18.2
	80～84歳	129	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8	2.3	79.1	18.6
	85歳以上	78	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	71.8	24.4
女性	65～69歳	255	2.0	1.2	1.6	0.8	3.1	8.6	80.0	11.4
	70～74歳	259	1.2	1.2	0.4	0.4	3.1	6.2	77.6	16.2
	75～79歳	242	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	1.7	79.8	18.6
	80～84歳	197	1.0	0.5	0.0	0.5	0.5	2.5	72.6	24.9
	85歳以上	134	0.7	0.0	0.0	0.0	2.2	3.0	79.1	17.9
認定	非認定者	1,715	1.4	0.6	0.5	0.8	3.4	6.7	78.1	15.2
	要支援1・2	169	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	78.7	20.1
地域	高田	816	1.2	0.7	0.2	0.4	3.4	6.0	80.6	13.4
	直江津	431	1.4	0.5	0.9	0.9	3.7	7.4	74.5	18.1
	旧東頸城	154	1.9	1.9	0.0	0.6	4.5	9.1	70.1	20.8
	旧頸北	367	1.1	0.5	0.5	1.1	1.4	4.6	77.9	17.4
	旧中頸城	214	0.9	0.5	0.5	0.5	4.7	7.0	75.7	17.3

④ 地域の生活環境の改善（美化）活動：図表4-18

区分	人数(人)	活動している内訳					活動している	活動していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	0.1	0.2	0.5	2.2	26.9	30.0	52.7	17.4	
男性	65～69歳	244	0.0	0.4	0.4	3.3	43.0	47.1	41.8	11.1
	70～74歳	245	0.0	0.8	1.2	4.9	44.5	51.4	40.0	8.6
	75～79歳	187	0.5	0.5	2.1	3.2	35.8	42.2	42.2	15.5
	80～84歳	129	0.0	0.0	1.6	4.7	28.7	34.9	48.1	17.1
	85歳以上	78	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	10.3	62.8	26.9
女性	65～69歳	255	0.0	0.0	0.4	0.4	25.1	25.9	62.7	11.4
	70～74歳	259	0.4	0.0	0.0	2.7	25.1	28.2	57.9	13.9
	75～79歳	242	0.0	0.0	0.0	0.8	26.0	26.9	55.0	18.2
	80～84歳	197	0.0	0.0	0.0	1.0	11.7	12.7	63.5	23.9
	85歳以上	134	0.0	0.7	0.7	1.5	6.0	9.0	72.4	18.7
認定	非認定者	1,715	0.1	0.2	0.6	2.4	29.6	32.9	52.8	14.3
	要支援1・2	169	0.0	0.6	0.0	1.8	10.1	12.4	68.0	19.5
地域	高田	816	0.0	0.2	0.7	2.3	27.5	30.8	57.4	11.9
	直江津	431	0.0	0.2	0.7	2.1	27.4	30.4	51.0	18.6
	旧東頸城	154	0.6	0.0	0.6	5.2	33.1	39.6	41.6	18.8
	旧頸北	367	0.3	0.5	0.3	2.2	24.5	27.8	55.0	17.2
	旧中頸城	214	0.0	0.0	0.5	0.5	30.8	31.8	51.4	16.8

⑤ 収入のある仕事：図表 4-19

区分	人数(人)	活動している内訳					活動している	活動していない	無回答	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体	2,269	9.2	4.1	0.8	2.3	5.5	21.9	61.1	17.0	
男性	65～69歳	244	24.2	13.5	2.0	2.9	8.2	50.8	37.3	11.9
	70～74歳	245	16.3	4.9	1.2	4.5	9.4	36.3	54.3	9.4
	75～79歳	187	6.4	3.2	0.0	3.2	12.3	25.1	59.9	15.0
	80～84歳	129	3.1	0.8	0.8	3.9	3.9	12.4	69.8	17.8
	85歳以上	78	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	2.6	73.1	24.4
女性	65～69歳	255	14.9	5.1	0.4	3.1	4.7	28.2	61.2	10.6
	70～74歳	259	5.0	2.7	0.8	3.1	5.4	17.0	69.5	13.5
	75～79歳	242	2.9	1.7	0.8	0.8	4.1	10.3	71.9	17.8
	80～84歳	197	2.5	1.0	0.0	0.5	2.0	6.1	72.1	21.8
	85歳以上	134	2.2	0.0	0.0	0.0	1.5	3.7	77.6	18.7
認定	非認定者	1,715	9.8	4.1	0.8	2.7	6.1	23.4	62.4	14.2
	要支援 1・2	169	1.8	2.4	0.6	0.0	2.4	7.1	74.6	18.3
地域	高田	816	11.3	3.9	1.1	2.8	4.3	23.4	65.1	11.5
	直江津	431	9.7	5.1	0.5	1.9	3.9	21.1	60.6	18.3
	旧東頸城	154	7.8	2.6	0.6	2.6	12.3	26.0	53.9	20.1
	旧頸北	367	7.4	3.8	0.0	2.2	6.0	19.3	64.3	16.3
	旧中頸城	214	6.1	3.3	0.9	2.8	10.3	23.4	60.7	15.9

(7) 周りの人とのたすけあい状況（複数回答有り）[問 7-13]

- ・ 周りとのたすけあい状況を見ると、いずれの設問でも「助け合う人がいる」割合が非常に高くなっています。
- ・ 「①心配事や愚痴を聞いてくれる人」「②心配事や愚痴を聞いてあげる人」では、「③看病や世話をしてくれる人」「④看病や世話をしてあげる人」よりも、「近隣」や「友人」の割合が高くなっています。

○ 回答状況（図表 4-20）

（単位：％）

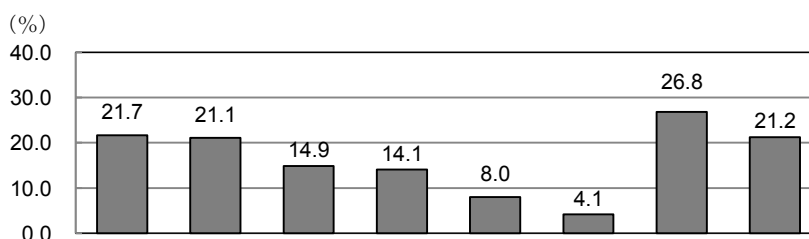
設問	助け合う人内訳							助け合う人がいる	そのような人はいない	無回答
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他			
①心配事や愚痴を聞いてくれる人	49.6	24.6	30.4	34.9	17.8	34.5	0.9	81.8	5.2	13.0
②心配事や愚痴を聞いてあげる人	46.8	21.4	27.7	35.8	21.6	33.6	1.0	79.3	6.2	14.5
③看病や世話をしてくれる人	55.6	35.4	28.7	21.8	3.9	4.7	0.6	84.3	3.2	12.5
④看病や世話をしてあげる人	53.7	25.3	20.3	27.6	5.0	5.4	0.8	72.4	10.5	17.1

※「助け合う人がいる」＝100％－「そのような人はいない」－無回答

(8) 相談相手（複数回答有り）[問 7-14]

- ・ 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は「医師・歯科医師・看護師」が 21.7%と最も高く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」が 21.1%、「市役所・地域包括支援センター」が 14.9%となっていますが、「そのような人はいない」の割合が 26.8%と高くなっています。
- ・ 要支援者では、相談する相手として「ケアマネジャー」が最も高く、29.6%となっています。

○回答状況（図表 4-21）



区分		人数(人)	医師・歯科医師・看護師	社会福祉協議会・民生委員	地域包括支援センター	役所・役場	自治会・町内会・老人クラブ	ケアマネジャー	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,269	21.7	21.1	14.9	14.1	8.0	4.1	26.8	21.2	
男性	65～69歳	244	20.5	12.3	13.5	19.7	4.1	5.3	34.8	17.2	
	70～74歳	245	26.1	24.5	20.0	21.6	4.1	4.5	26.5	12.2	
	75～79歳	187	21.4	23.5	18.2	19.3	7.5	5.9	23.0	18.2	
	80～84歳	129	30.2	27.1	20.2	21.7	10.1	3.9	18.6	20.2	
	85歳以上	78	26.9	26.9	12.8	19.2	11.5	2.6	21.8	16.7	
女性	65～69歳	255	15.7	14.1	10.6	10.6	8.6	4.7	36.1	20.0	
	70～74歳	259	20.8	23.9	17.0	6.9	7.7	3.5	30.9	20.8	
	75～79歳	242	28.5	28.5	15.7	16.5	6.6	4.1	19.0	21.1	
	80～84歳	197	21.3	21.3	11.7	8.1	8.1	3.6	29.4	23.4	
	85歳以上	134	16.4	20.9	13.4	9.0	22.4	3.7	21.6	24.6	
認定	非認定者	1,715	22.3	21.6	15.5	15.6	6.2	4.5	28.5	18.1	
	要支援1・2	169	24.3	27.2	18.9	12.4	29.6	1.8	17.2	22.5	
地域	高田	816	23.5	20.7	12.5	14.5	8.2	4.3	30.9	16.2	
	直江津	431	22.7	23.2	10.7	15.1	8.6	4.4	27.4	18.3	
	旧東頸城	154	20.1	23.4	21.4	18.8	9.7	1.9	20.1	26.6	
	旧頸北	367	20.2	21.8	22.1	13.6	8.7	6.8	22.3	21.5	
	旧中頸城	214	21.5	21.0	19.6	15.0	5.1	1.9	28.0	23.8	

(9) 友人関係[問 7-15]

1) 友人・知人と会う頻度

- ・ 友人・知人と会う頻度は、「月 1～3 回」が 21.9%と最も多く、次いで「年に数回」が 19.4%、「週 2～3 回」が 16.3%となっています。
- ・ 男女別に見ると、男性に比べて女性の方が友人・知人と会う頻度が高くなっています。

○ 回答状況 (図表 4-22)

(単位：%)

区分	人数 (人)	会っている内訳					会っている	会っていない	無回答	
		週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回				
全体	2,269	9.3	16.3	11.8	21.9	19.4	78.7	7.4	13.9	
男性	65～69 歳	244	10.7	10.7	10.7	22.5	27.0	81.6	7.4	11.1
	70～74 歳	245	8.2	14.7	10.6	25.3	24.9	83.7	6.5	9.8
	75～79 歳	187	6.4	15.0	9.1	26.2	24.1	80.7	7.5	11.8
	80～84 歳	129	6.2	12.4	7.8	20.2	28.7	75.2	8.5	16.3
	85 歳以上	78	5.1	9.0	6.4	16.7	25.6	62.8	21.8	15.4
女性	65～69 歳	255	11.8	16.1	14.5	27.5	16.9	86.7	5.1	8.2
	70～74 歳	259	9.3	22.0	14.3	23.2	15.1	83.8	5.8	10.4
	75～79 歳	242	12.0	21.1	11.6	22.3	15.3	82.2	3.7	14.0
	80～84 歳	197	11.7	21.8	15.7	14.2	11.7	75.1	9.1	15.7
	85 歳以上	134	9.0	20.9	11.2	20.9	14.2	76.1	12.7	11.2
認定	非認定者	1,715	9.7	17.2	11.7	23.7	20.0	82.3	6.9	10.7
	要支援 1・2	169	7.7	16.0	11.2	16.6	19.5	71.0	14.2	14.8
地域	高田	816	9.7	16.5	13.5	22.1	21.2	83.0	6.7	10.3
	直江津	431	10.7	17.2	10.0	24.6	16.5	78.9	10.0	11.1
	旧東頸城	154	10.4	13.0	12.3	23.4	17.5	76.6	7.1	16.2
	旧頸北	367	8.2	19.9	10.9	19.9	21.8	80.7	5.4	13.9
	旧中頸城	214	7.5	15.4	10.3	24.3	20.1	77.6	9.3	13.1

2) 何人の友人・知人と会ったか

- ・ この1か月間に会った友人・知人の数（同じ人に複数回会っても1人と数える）は、「10人以上」が、24.8%と最も多く、次いで「3～5人」が24.2%となっています。
- ・ 男女別に見ると、男性に比べて女性の方が多くの友人・知人と会っています。
- ・ 年齢が上がるにしたがい、「0人」の割合が高くなっています。
- ・ 要支援1・2の人は、非認定者に比べて「6～9人」「10人以上」の割合が低くなっています。

○ 回答状況（図表4-23）

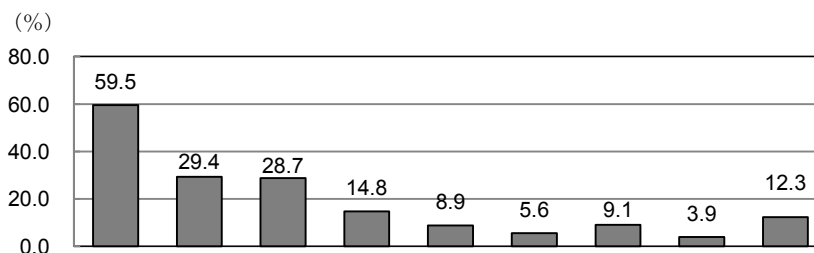
（単位：％）

区分		人数 (人)	0人	1 ～ 2人	3 ～ 5人	6 ～ 9人	10 人 以上	無 回 答
全体		2,269	6.7	21.1	24.2	10.5	24.8	12.7
男性	65～69歳	244	9.4	21.3	23.0	9.4	25.4	11.5
	70～74歳	245	5.3	26.5	22.0	13.1	25.7	7.3
	75～79歳	187	8.6	17.6	26.7	13.9	21.9	11.2
	80～84歳	129	8.5	30.2	20.2	7.0	20.2	14.0
	85歳以上	78	15.4	33.3	16.7	6.4	10.3	17.9
女性	65～69歳	255	5.1	20.0	20.8	13.7	32.5	7.8
	70～74歳	259	5.0	15.8	30.5	12.0	28.6	8.1
	75～79歳	242	2.9	18.6	24.8	12.0	28.5	13.2
	80～84歳	197	6.6	19.3	27.9	7.1	26.9	12.2
	85歳以上	134	11.9	26.1	26.1	6.7	16.4	12.7
認定	非認定者	1,715	6.5	21.5	24.3	11.1	27.0	9.7
	要支援1・2	169	11.8	24.3	27.8	7.7	13.6	14.8
地域	高田	816	5.9	21.8	25.1	10.8	28.1	8.3
	直江津	431	9.0	22.3	21.1	10.2	25.5	11.8
	旧東頸城	154	7.1	18.8	29.9	9.7	18.8	15.6
	旧頸北	367	6.0	22.1	24.3	11.7	23.2	12.8
	旧中頸城	214	8.4	20.6	24.8	11.7	22.9	11.7

3) よく会う友人・知人との関係

- よく会う友人・知人との関係は「近所・同じ地域の人」が 59.5%と多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 29.4%、「仕事での同僚・元同僚」が 28.7%となっています。
- 男性の 85 歳以上では、「会う人がいない」割合が他の年齢や女性と比べても高くなっています。

○ 回答状況（図表 4-24）



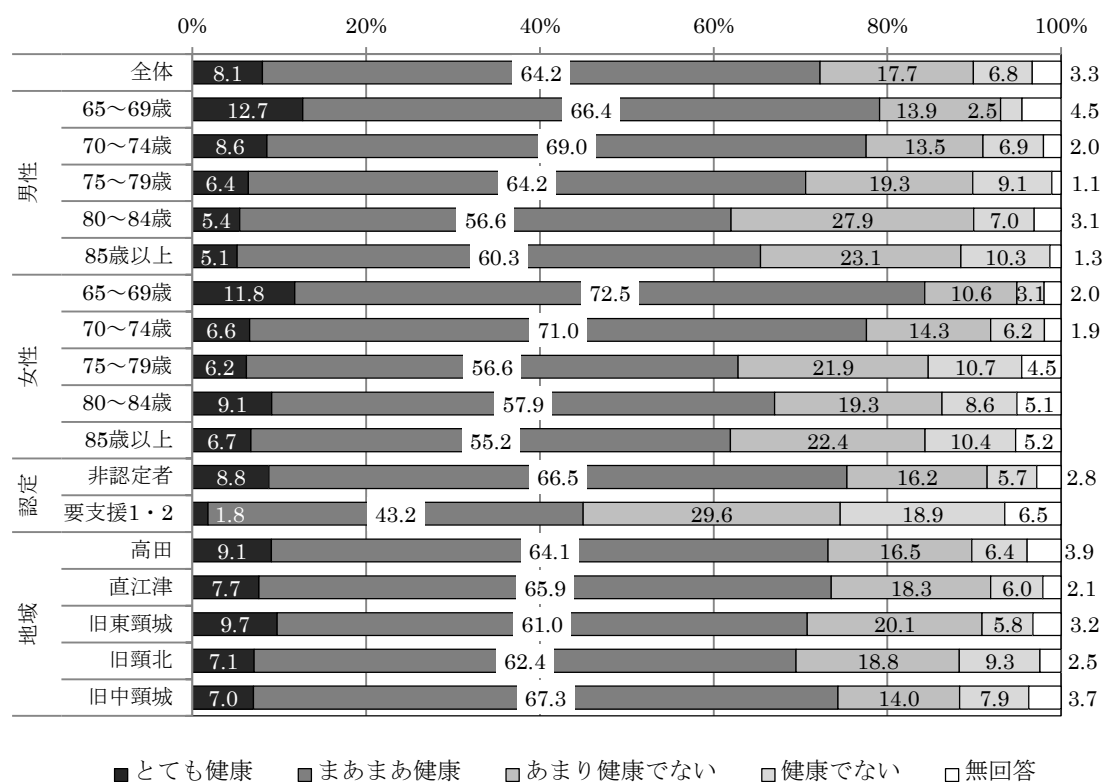
区分		人数 (人)	近所・同じ地域の人	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		2,269	59.5	29.4	28.7	14.8	8.9	5.6	9.1	3.9	12.3
男性	65～69 歳	244	48.8	29.9	50.0	17.6	9.4	6.1	10.7	3.7	10.2
	70～74 歳	245	52.7	31.0	42.4	16.7	9.8	4.9	10.6	3.3	8.6
	75～79 歳	187	58.3	29.4	34.8	13.4	7.0	7.0	8.6	3.2	11.8
	80～84 歳	129	62.8	24.8	27.1	10.1	5.4	3.9	4.7	5.4	12.4
	85 歳以上	78	39.7	17.9	16.7	3.8	5.1	7.7	14.1	15.4	12.8
女性	65～69 歳	255	63.9	36.5	37.6	18.0	11.4	7.5	11.8	2.4	7.8
	70～74 歳	259	66.4	37.5	33.2	15.1	8.1	8.9	6.9	3.5	8.1
	75～79 歳	242	70.7	38.8	16.9	25.2	9.9	6.6	5.8	1.7	11.6
	80～84 歳	197	68.0	23.4	7.1	13.2	9.6	1.0	7.1	5.1	11.7
	85 歳以上	134	65.7	15.7	5.2	9.0	6.7	4.5	14.2	9.0	13.4
認定	非認定者	1,715	61.4	32.1	31.8	16.7	9.0	6.1	9.3	3.6	9.2
	要支援 1・2	169	58.6	18.3	10.7	6.5	6.5	5.3	10.7	10.7	14.8
地域	高田	816	59.4	34.1	32.5	15.0	6.6	5.8	10.2	3.6	8.2
	直江津	431	55.2	28.8	31.6	18.3	10.9	5.1	8.4	6.7	10.4
	旧東頸城	154	62.3	26.0	22.1	9.7	8.4	8.4	10.4	4.5	14.9
	旧頸北	367	64.3	31.3	26.2	18.5	11.2	4.6	7.1	3.0	12.5
	旧中頸城	214	69.2	21.5	24.8	11.2	8.4	8.4	9.8	3.3	11.7

5 健康・疾病

(1) 自分を健康だと思うか[問8-1]

- ・ 普段の自分の健康については、「まあまあ健康」が 64.2%を占めています。「とても健康」の 8.1%との合計では 72.3%となりますが、男女ともに年齢が上がるとともに低下しています。
- ・ 要支援1・2の人について、「とても健康」「まあまあ健康」の合計が 45%となっています。

○ 回答状況（図表5-1）

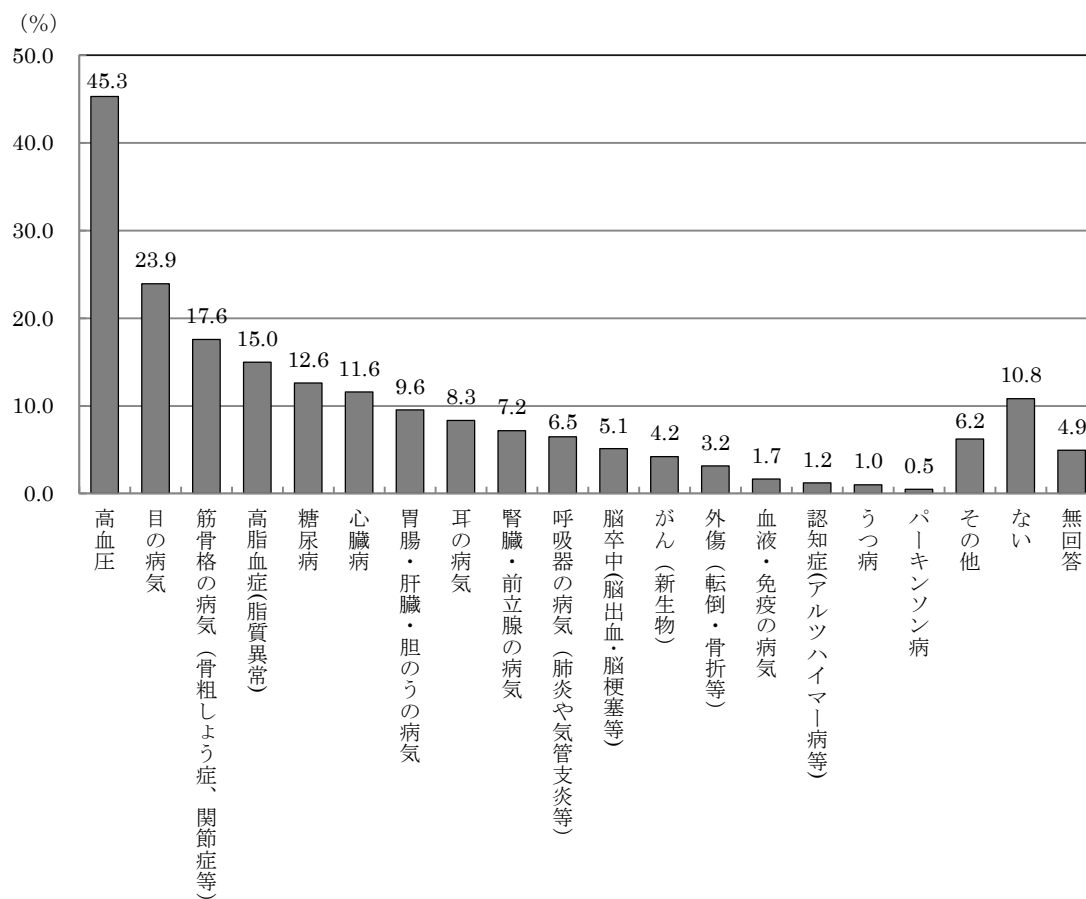


(2) 治療中・後遺症のある病気（複数回答有り）[問 8-2]

1) 病名

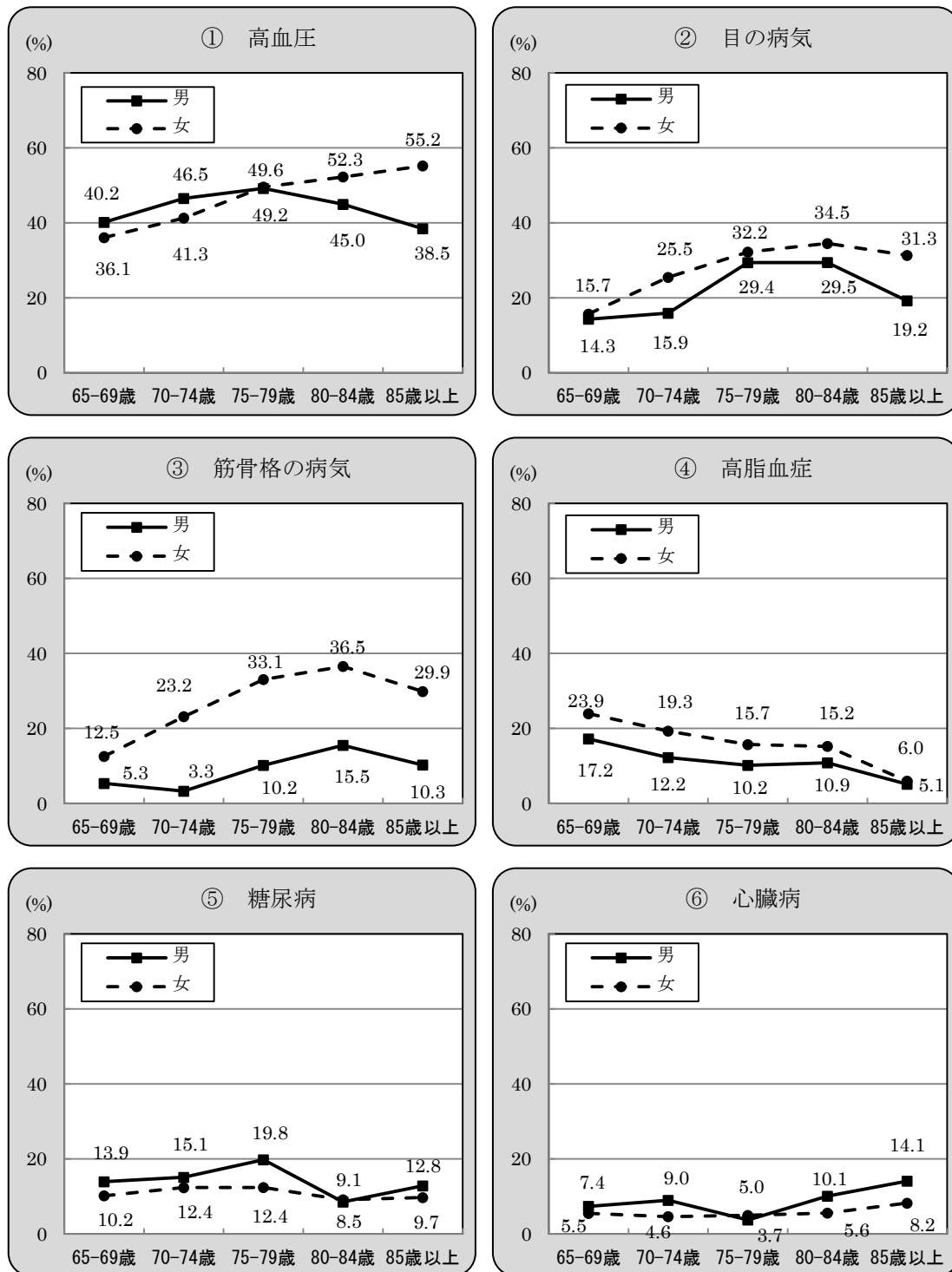
- ・ 現在、治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」が45.3%と最も多く、次いで「目の病気」23.9%、「筋骨格系の病気（骨粗しょう症、関節症等）」17.6%、「高脂血症」15%、「糖尿病」12.6%、「心臓病」11.6%の順となっています。

図表 5-2：治療中の病気



- ・ 「高脂血症」は、年齢が上がるとともに低くなる傾向が見られます。
- ・ 「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」では、女性の割合が高くなっています。

図表 5-3：治療中・後遺症のある病気（疾患別）



図表 5-4 : 治療中・後遺症のある（非認定者と要支援 1・2 の比較）

区分	非認定者	要支援 1・2	無回答	計
人数（人）	1,715	169	385	2,269
①高血圧	44.8%	46.7%	46.8%	45.3%
②目の病気	23.7%	30.2%	22.1%	23.9%
③筋骨格の病気	15.9%	42.0%	14.5%	17.6%
④高脂血症	15.6%	11.2%	13.8%	15.0%
⑤糖尿病	13.0%	10.1%	11.9%	12.6%
⑥心臓病	5.9%	10.1%	7.3%	6.5%

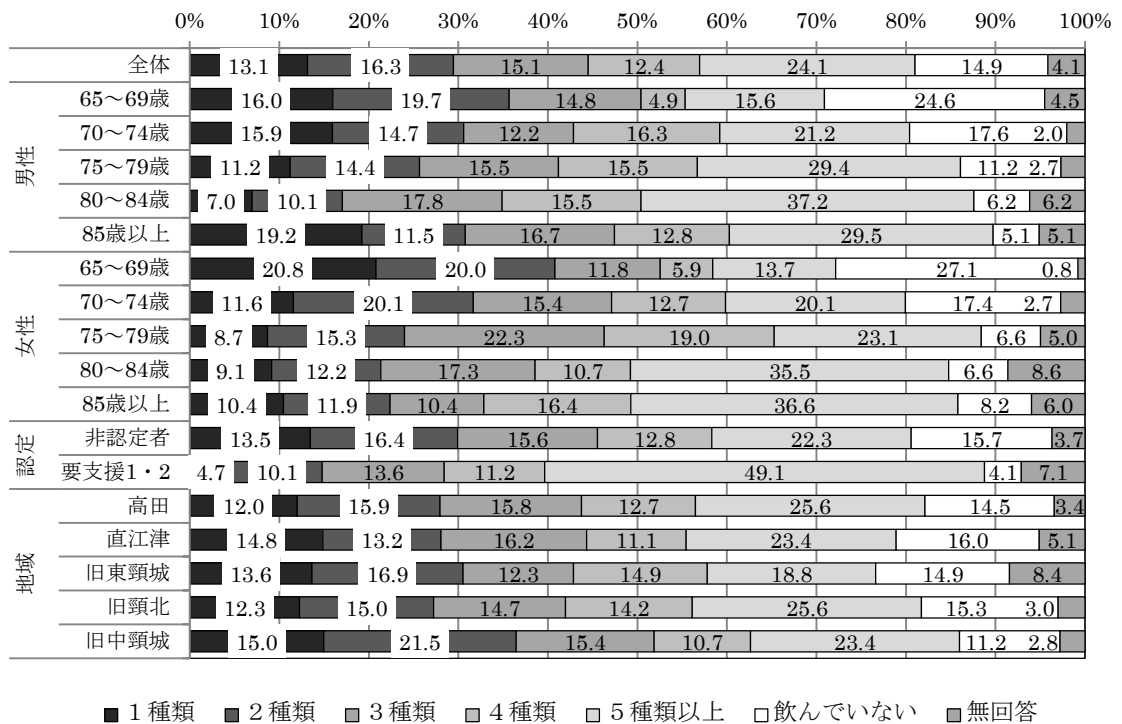
図表 5-5 : 治療中・後遺症のある（地域別の比較）

区分	高田	直江津	旧東頸城	旧頸北	旧中頸城	無回答	計
人数（人）	816	431	154	367	214	287	2,269
①高血圧	43.1%	43.4%	46.8%	47.4%	50.0%	47.4%	45.3%
②目の病気	24.1%	23.7%	13.6%	26.4%	28.5%	22.6%	23.9%
③筋骨格の病気	17.8%	16.0%	16.9%	18.0%	21.5%	16.4%	17.6%
④高脂血症	16.8%	14.4%	11.0%	12.5%	16.8%	14.6%	15.0%
⑤糖尿病	13.4%	11.6%	14.3%	11.7%	13.1%	11.8%	12.6%
⑥心臓病	6.7%	5.8%	6.5%	7.4%	7.0%	5.2%	6.5%

2) 医師が処方した薬を内服している数[問 8-3]

- ・ 医師が処方した薬を内服している数は、「5 種類以上」24.1%が最も多く、次いで「2 種類」16.3%、「3 種類」15.1%、「飲んでいない」14.9%となっています。
- ・ 男女ともに65～69 歳では、医師が処方した薬を「内服していない」人の割合が高くなっています。
- ・ 認定状況を見ると、要支援1・2 では医師が処方した薬を「5 種類以上内服している」人が49.1%という高い結果になっています。

○ 回答状況 (図表 5-6)



(3) 通院

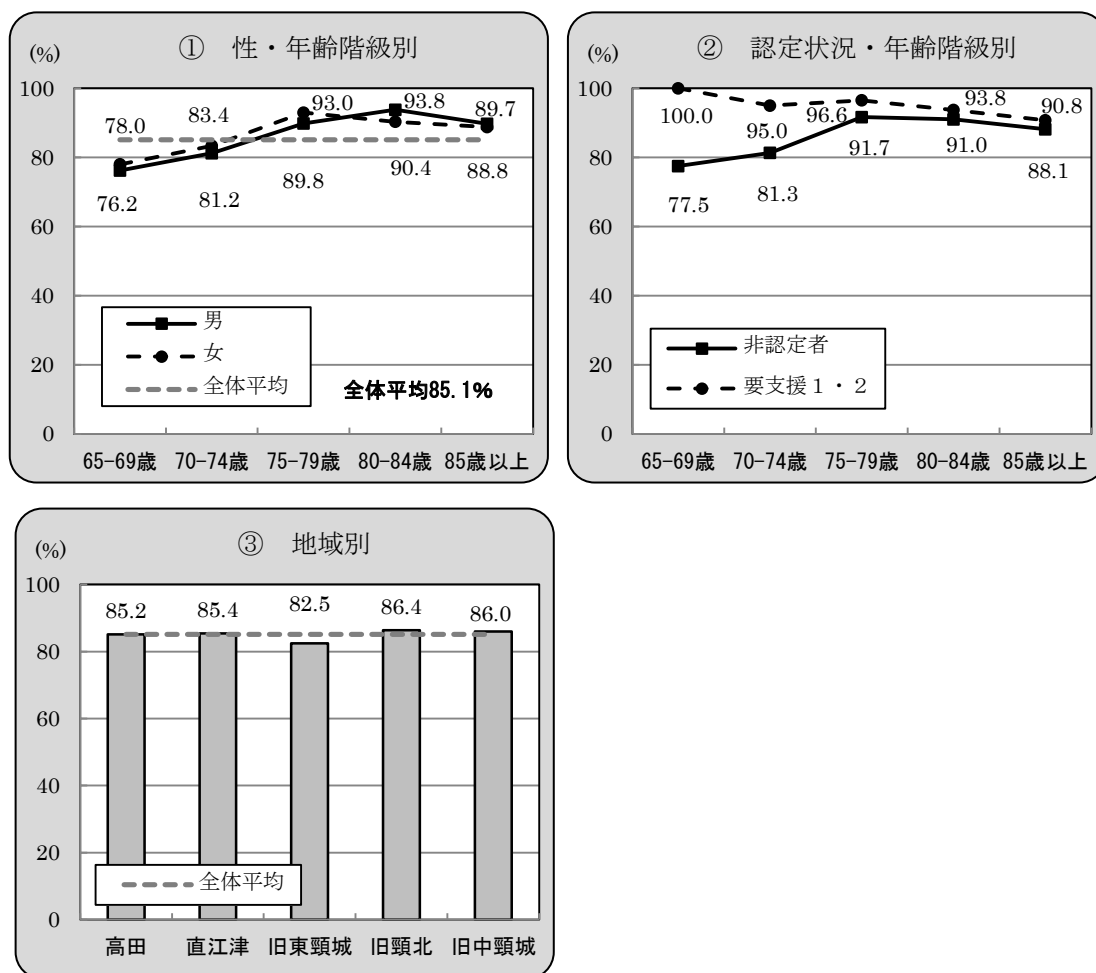
1) 通院の有無[問 8-4]

- ・ 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院している人は 85.1%となっています。
- ・ 男女ともに、年齢が上がるとともに「通院している」人の割合は高くなりますが、75歳以上ではほぼ横ばいとなります。

○ 回答状況

設問	はい	いいえ	無回答
通院の有無	1,932人	283人	54人

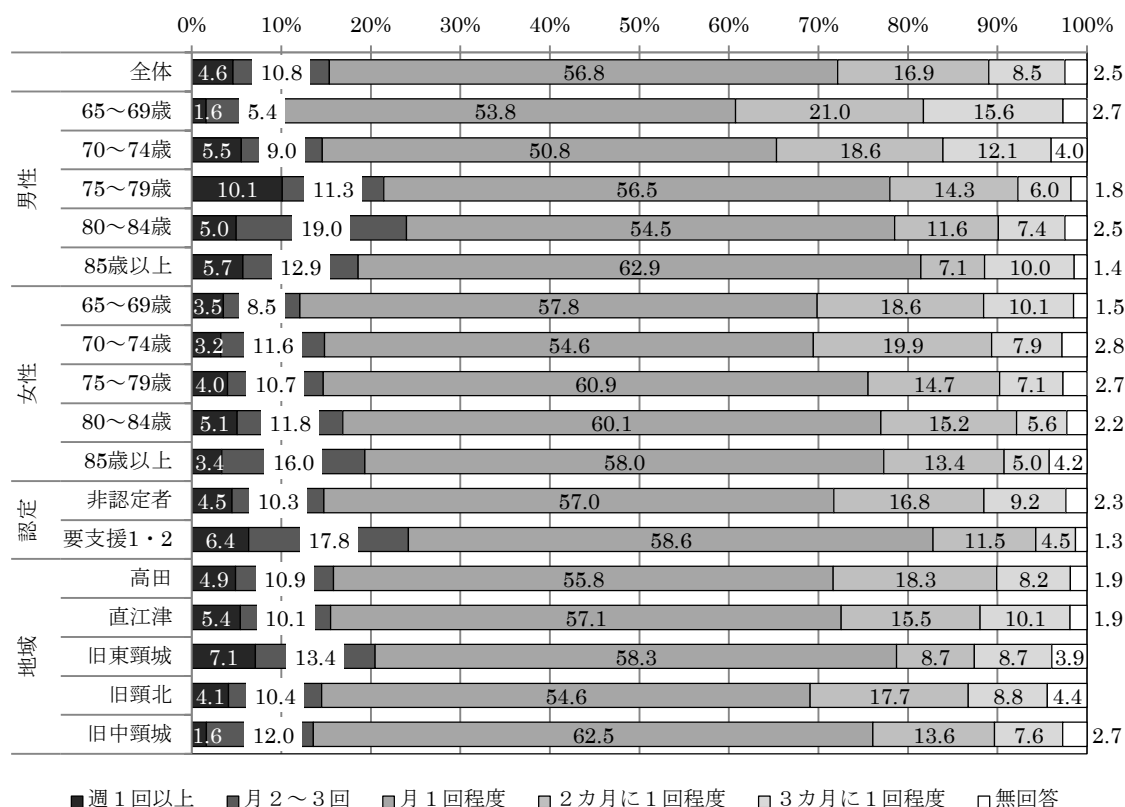
図表 5-7：通院の有無の割合



2) 通院の頻度（通院している人のみ）〔問 8-4-①〕

- ・ 通院していると答えた人の通院頻度は、「月 1 回程度」が 56.8%、「2 か月に 1 回程度」が 16.9%、「月 2～3 回程度」が 10.8%となっています。
- ・ 地域別に見ると、旧東頸城地域において通院が「週 1 回以上」「月 2～3 回」の割合が合計 20.5%と他の地域よりも高くなっています。

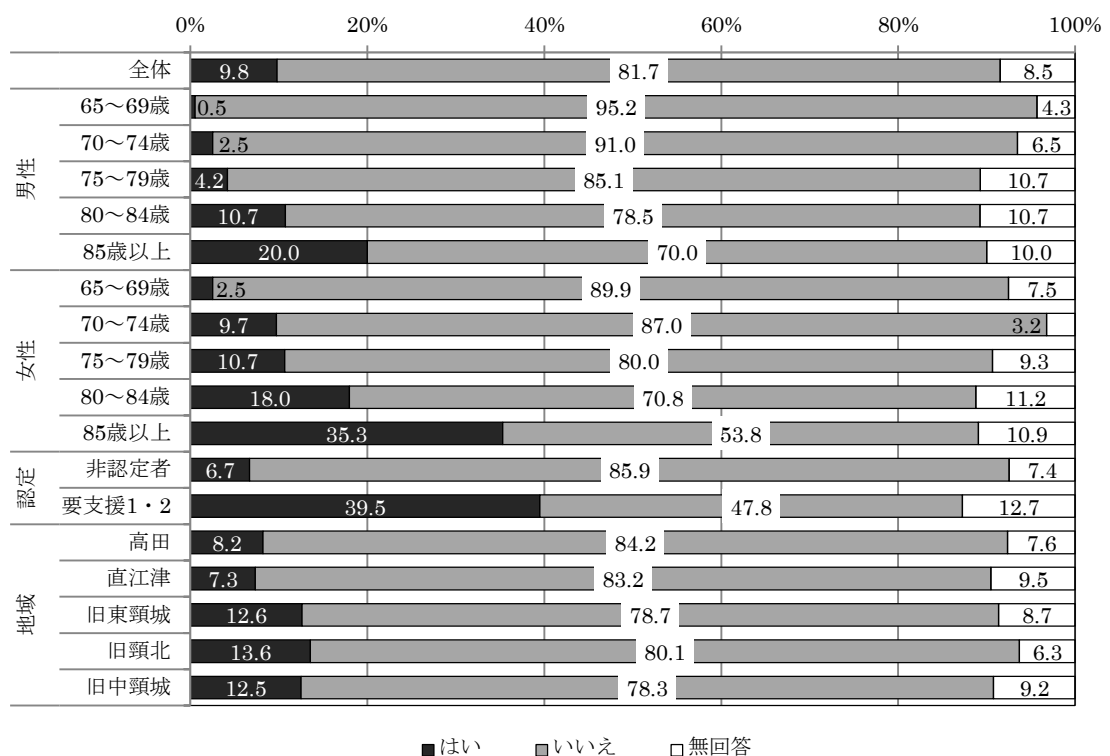
○ 回答状況：図表 5-8



3) 通院介助の必要性[問 8-4-②]

- ・ 通院に介助が必要な人は9.8%です。81.7%の人は、介助の必要がない状況で通院が可能となっています。
- ・ 男女の比較では、男性よりも女性の方が「通院介助の必要性がある」人がどの年齢区分においても高く、特に85歳以上では35.3%となっています。
- ・ 地域別に見ると、高田地域の8.2%及び直江津地域の7.3%に比べ、旧中頸城地域12.5%、旧東頸城地域12.6%、旧頸北地域13.6%と「通院介助の必要性のある人」の割合が高くなっています。

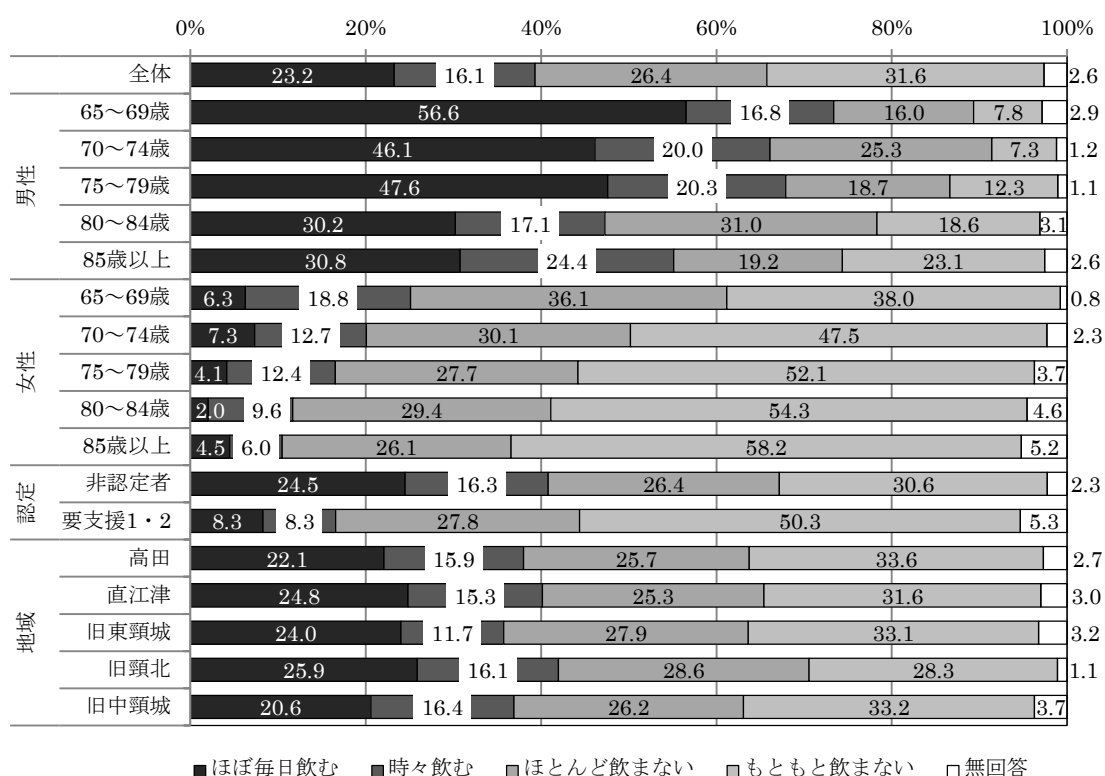
○ 回答状況：図表 5-9



(4) 飲酒[問 8-6]

- ・ 飲酒は、「もともと飲まない」が 31.6%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が 26.4%、「ほぼ毎日飲む」23.2%、「時々飲む」16.1%の順となっています。
- ・ 男女の比較では、「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の割合は、圧倒的に男性が女性よりも高くなっています。
- ・ 認定状況別に見ると、非認定者では「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」と飲酒する割合が 40.8%であり、要支援1・2の 16.6%に比べて高くなっています。

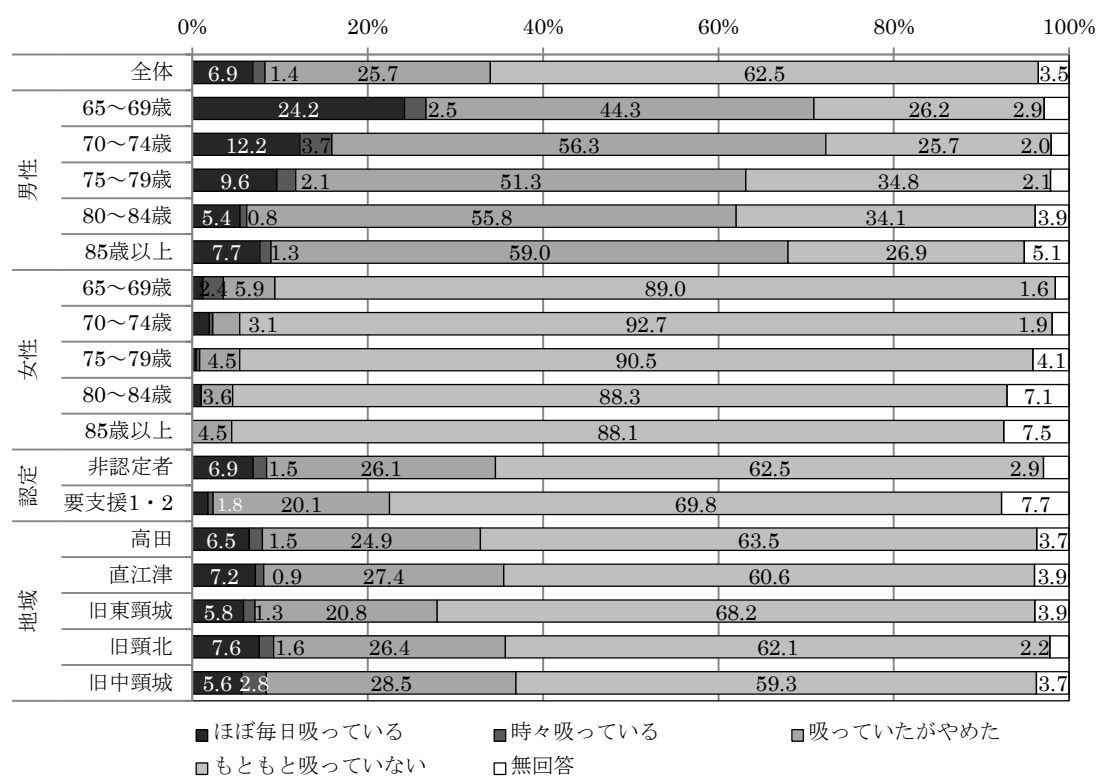
○ 回答状況：図表 5-10



(5) 喫煙[問 8-7]

- ・ 喫煙は、「もともと吸っていない」が62.5%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が25.7%と、喫煙が習慣化している人の割合が低くなっています。
- ・ 男女の比較では、「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」の割合は、圧倒的に男性が女性よりも高くなっています。
- ・ 地域別に見ると、旧東頸城地域では「もともと吸っていない」の割合が68.2%と他の地域に比べて高くなっています。

○ 回答状況：図表 5-11



上越市 日常生活圏域二一ズ調査 【調査票】

日頃から上越市介護保険事業にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

上越市では、現在、「上越市第5期介護保険事業計画・第6期高齢者福祉計画」に基づき、介護保険制度の運営や高齢者福祉施策を実施しておりますが、平成26年度に「上越市第6期介護保険事業計画・第7期高齢者福祉計画」（計画期間：平成27～29年度）を策定することとしております。

この計画の策定に当たり、高齢者の皆さんの生活状況を調査し、皆さんが必要としているサービスを把握するため、本調査を実施いたします。

本調査は、市内にお住まいの65歳以上の介護認定を受けていない方と要支援1・2の方の中から3,000人を無作為に選ばせていただき、調査票をお送りしています。

時節柄、お忙しいことと思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、収集した個人の健康情報は、大切な個人情報であるという認識にたち、上越市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱います。

記入に際してのお願い

- ご回答に当たっては、宛名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されたりしてもかまいません。
- ご回答に当たっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例：

	6	2
--	---	---

 kg）でご記入ください。
- この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
- 記入した調査票（表紙を含む5枚）は、3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**12月25日（水）**までに投かんしてください。

問合せ先	上越市高齢者支援課介護指導係
電話	025-526-5111（内線1670）
FAX	025-526-6115

記入日	平成 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. 宛名のご本人が記入 2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄_____） 3. その他（ 関係： _____ ）	

※以下は宛名のご本人の情報を記入してください。

氏名	
生年月日	大正・昭和 年 月 日 () 歳
性別	男 ・ 女
要介護・要支援区分	認定なし ・ 要支援1 ・ 要支援2
現在お住まいの中学校区	1 城北 2 城東 3 城西 4 雄志 5 八千浦 6 直江津 7 直江津東 8 潮陵 9 春日 10 安塚 11 浦川原 12 大島 13 牧 14 柿崎 15 大湯 16 頸城 17 吉川 18 中郷 19 板倉 20 清里 21 三和 22 名立

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

問1		あなたのご家族や生活状況について	
Q1. 家族構成をお教えてください			
1. 一人暮らし		2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）	
⇒ Q2△		⇒ Q1-1、2△	
3. その他（施設入居など）			
⇒ Q2△			
(家族などと同居されている方のみ)			
Q1-1. <u>ご自分を含めて</u> 何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか（いくつでも）			
□		人	
1. 配偶者(夫・妻)		2. 息子	
3. 娘		4. 子の配偶者	
5. 孫		6. 兄弟・姉妹	
7. その他			
Q1-2. (家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか			
1. よくある		2. たまにある	
3. ない			
Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか			
1. 介護・介助は必要ない ⇒ Q3△			
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ Q2-1△			
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）			
⇒ Q2-1～3△			
Q2-1. (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）			
1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）		2. 心臓病	
3. がん（悪性新生物）		4. 呼吸器の病気(肺炎・気腫・気管炎等)	
5. 関節の病気(リウマチ等)		6. 認知症(アルツハイマー病等)	
7. パーキンソン病		8. 糖尿病	
9. 視覚・聴覚障害		10. 骨折・転倒	
11. 脊椎損傷		12. 高齢による衰弱	
13. その他（		）	
14. 不明			
Q2-2. (介護・介助を受けている方のみ) 主にどなたの介護・介助を受けていますか			
1. 配偶者(夫・妻)		2. 息子	
3. 娘		4. 子の配偶者	
5. 孫		6. 兄弟・姉妹	
7. 介護サービスのヘルパー		8. その他（	
		）	
Q2-3. (介護・介助を受けている方のみ) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか			
1. 65歳未満		2. 65～74歳	
3. 75～84歳		4. 85歳以上	
Q3. 年金の種類は次のどれですか			
1. 国民年金		2. 厚生年金（企業年金あり）	
3. 厚生年金（企業年金なし）		4. 共済年金	
5. 無年金		6. その他	
Q4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか			
1. 苦しい		2. やや苦しい	
3. ややゆとりがある		4. ゆとりがある	
Q5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか			
1. 一戸建て		2. 集合住宅	
Q6. お住まいは、次のどれにあたりますか			
1. 持家		2. 民間賃貸住宅	
3. 公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等)		4. 借間	
5. その他			
Q7. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか			
1. はい		2. いいえ	
⇒ Q7-1△		⇒ 問2△	
Q7-1. (2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか			
1. はい		2. いいえ	

問2 運動・閉じこもりについて

Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. はい	2. いいえ
Q3. 15分位続けて歩いていますか	1. はい	2. いいえ
Q4. 5m以上歩けますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 週に1回以上は外出していますか	1. はい	2. いいえ
Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	2. いいえ
Q7. 外出を控えていますか	1. はい	2. いいえ ⇒ Q7-1へ ⇒ Q8へ
<p>Q7-1. (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)</p> <p>1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)</p> <p>5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない</p> <p>8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他()</p>		
<p>Q8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか (それぞれ1つ)</p> <p>A. 買物…1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満</p> <p>B. 散歩…1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満</p>		
<p>Q9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)</p> <p>1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう)</p> <p>6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート)</p> <p>11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他()</p>		

問3 転倒について

Q1. この1年間に転んだことがありますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	2. いいえ
Q3. 背中が丸くなってきましたか	1. はい	2. いいえ
Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 杖を使っていますか	1. はい	2. いいえ

問4 口腔・栄養について

Q1. 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	2. いいえ
Q2. 身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg		
Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ
Q4. お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	2. いいえ
Q5. 口の渇きが気になりますか	1. はい	2. いいえ
Q6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	1. はい	2. いいえ
Q7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか	1. はい	2. いいえ
Q8. 入れ歯を使用していますか	1. はい ⇒ Q8-1,2へ	2. いいえ ⇒ Q9へ
Q8-1.（入れ歯のある方のみ）噛み合わせは良いですか	1. はい	2. いいえ
Q8-2.（入れ歯のある方のみ）毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい	2. いいえ
Q9. 1日の食事の回数は何回ですか 1. 朝昼晩の3食 2. 朝晩の2食 3. 朝昼の2食 4. 昼晩の2食 5. 1食 6. その他		
Q10. 食事を抜くことがありますか 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. ほとんどない		
Q11. 自分一人でなく、どなたかと食事をともにする機会がありますか 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない ⇒Q11-1へ ⇒Q11-1へ ⇒Q11-1へ ⇒Q11-1へ ⇒問5へ		
Q11-1.（どなたかと食事をともにする機会がある方のみ）食事をともにする人はどなたですか （いくつでも） 1. 家族 2. 近所の人や友人 3. デイサービスの仲間 4. その他		

問5 物忘れについて

Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1. はい	2. いいえ
Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい	2. いいえ
Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	2. いいえ
Q4. 5分前のことが思い出せますか	1. はい	2. いいえ
Q5. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか 1. 困難なくできる 2. いくらか困難であるが、できる 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 4. ほとんど判断できない		

Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか

1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる 3. あまり伝えられない
4. ほとんど伝えられない

問6 日常生活について

Q1. バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q2. 日用品の買物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

⇒Q3△

⇒Q2-1△

⇒Q2-1△

Q2-1.（日用品の買物をしていない、できない方のみ）日用品の買物をする人は主にどなたですか

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配達を依頼 5. その他

Q3. 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

⇒Q4△

⇒Q3-1△

⇒Q3-1△

Q3-1.（自分で食事の用意をしていない、できない方のみ）食事の用意をする人は主にどなたですか

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配食サービス利用 5. その他

Q4. 請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q5. 預貯金のおし入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q6. 食事は自分で食べられますか

1. できる 2. 一部介助（おかずを切ってもらなど）があればできる 3. できない

Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか

1. 受けない 2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要

Q8. 座っていることができますか

1. できる 2. 支えが必要 3. できない

Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか

1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない

Q10. 自分でトイレができますか

1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない

Q11. 自分で入浴ができますか

1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない

Q12. 50m以上歩けますか

1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない

Q13. 階段を昇り降りできますか

1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q14. 自分で着替えができますか

1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q15. 大便の失敗がありますか	1. ない	2. ときどきある	3. よくある
Q16. 尿もれや尿失禁がありますか	1. ない	2. ときどきある	3. よくある
Q17. 家事全般ができていますか	1. できている	2. できていない	

問7 社会参加について	
Q1. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい 2. いいえ
Q2. 新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
Q3. 本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ
Q5. 友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ
Q6. 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 2. いいえ
Q7. 病人を見舞うことができますか	1. はい 2. いいえ
Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 2. いいえ
Q9. 趣味はありますか	1. はい 2. いいえ
Q10. 生きがいがありますか	1. はい 2. いいえ
Q11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか	
(1) ボランティアのグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
(3) 趣味関係のグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
(4) 老人クラブ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
(5) 町内会・自治会	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
(6) 学習・教養サークル	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
(7) その他の団体や会	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

<p>Q12. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか</p> <p>(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない</p>
<p>(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない</p>
<p>(3) 子どもを育てている親を支援する活動</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない</p>
<p>(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない</p>
<p>(5) 収入のある仕事</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない</p>
<p>Q13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。</p> <p>あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。</p> <p>(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>
<p>(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>
<p>(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>
<p>(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>
<p>Q14. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）</p> <p>1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 7. そのような人はいない</p>
<p>Q15. 友人関係についておうかがいします。</p> <p>(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 会っていない</p>
<p>(2) この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。</p> <p>同じ人には何度会っても1人と数えることとします。</p> <p>1. 0人（いない） 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上</p>
<p>(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）</p> <p>1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない</p>

問8 健康について

Q1. 普段、ご自分で健康だと思いますか

1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康でない 4. 健康でない

Q2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症(脂質異常) 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等) 11. がん(新生物) 12. 血液・免疫の病気 13. うつ病 14. 認知症(アルツハイマー病等) 15. パーキンソン病 16. 目の病気 17. 耳の病気 18. その他() 19. ない

Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか

1. 1種類 2. 2種類 3. 3種類 4. 4種類 5. 5種類以上 6. 飲んでいない

Q4. 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか 1. はい 2. いいえ
⇒ Q4-1,2へ ⇒ Q5へ

Q4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか。

1. 週1回以上 2. 月2~3回 3. 月1回程度 4. 2ヶ月に1回程度 5. 3ヶ月に1回程度

Q4-2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか 1. はい 2. いいえ

Q5. 以下の在宅サービスを利用していますか (いくつでも)

1. 訪問診療(医師の訪問) 2. 訪問介護 3. 夜間対応型訪問介護 4. 訪問入浴介護
5. 訪問看護 6. 訪問リハビリテーション 7. 通所介護(デイサービス)
8. 認知症対応型通所介護 9. 通所リハビリテーション(デイケア)
10. 小規模多機能型居宅介護 11. 短期入所(ショートステイ)
12. 医師や薬剤師などによる療養上の指導(居宅療養管理指導)
13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 14. 複合型サービス 15. その他()

Q6. お酒は飲みますか

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

Q7. タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

Q8. (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない 1. はい 2. いいえ

Q9. (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった 1. はい 2. いいえ

Q10. (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる 1. はい 2. いいえ

Q11. (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない 1. はい 2. いいえ

Q12. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする 1. はい 2. いいえ

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票(表紙を含む5枚)は、3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、12月25日(水)までに投かんしてください。

上越市日常生活圏域ニーズ調査 報告書

平成 26 年 6 月

発行：上越市

編集：健康福祉部高齢者支援課

〒943-8601

新潟県上越市木田 1 丁目 1 番 3 号

TEL : 025-526-5111

FAX : 025-526-6115
